平成25年３月期
第２四半期決算説明会

平成２４年10月30日
株式会社小森コーポレーション

Copyright © 2008 Corporation. All Rights reserved.

1. 社長挨拶

代表取締役会長 兼 社長 小森　善治

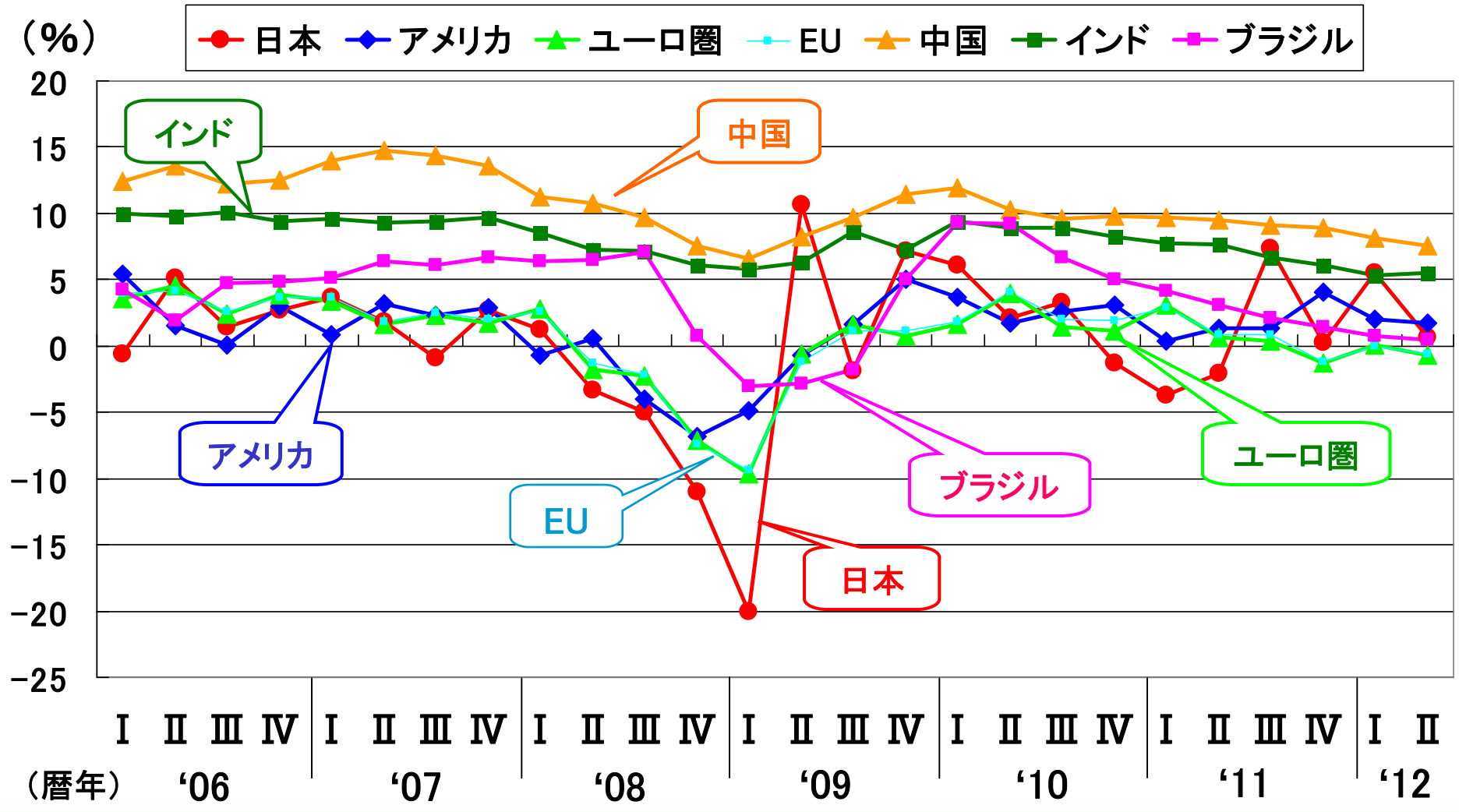
2. 平成25年３月期第２四半期業績および通期計画

取締役管理本部長　　近藤　真

3. 事業構造変革による収益拡大指針
～黒字定着化に向けて

代表取締役専務　　持田　訓

先進・新興地域　実質GDP成長率

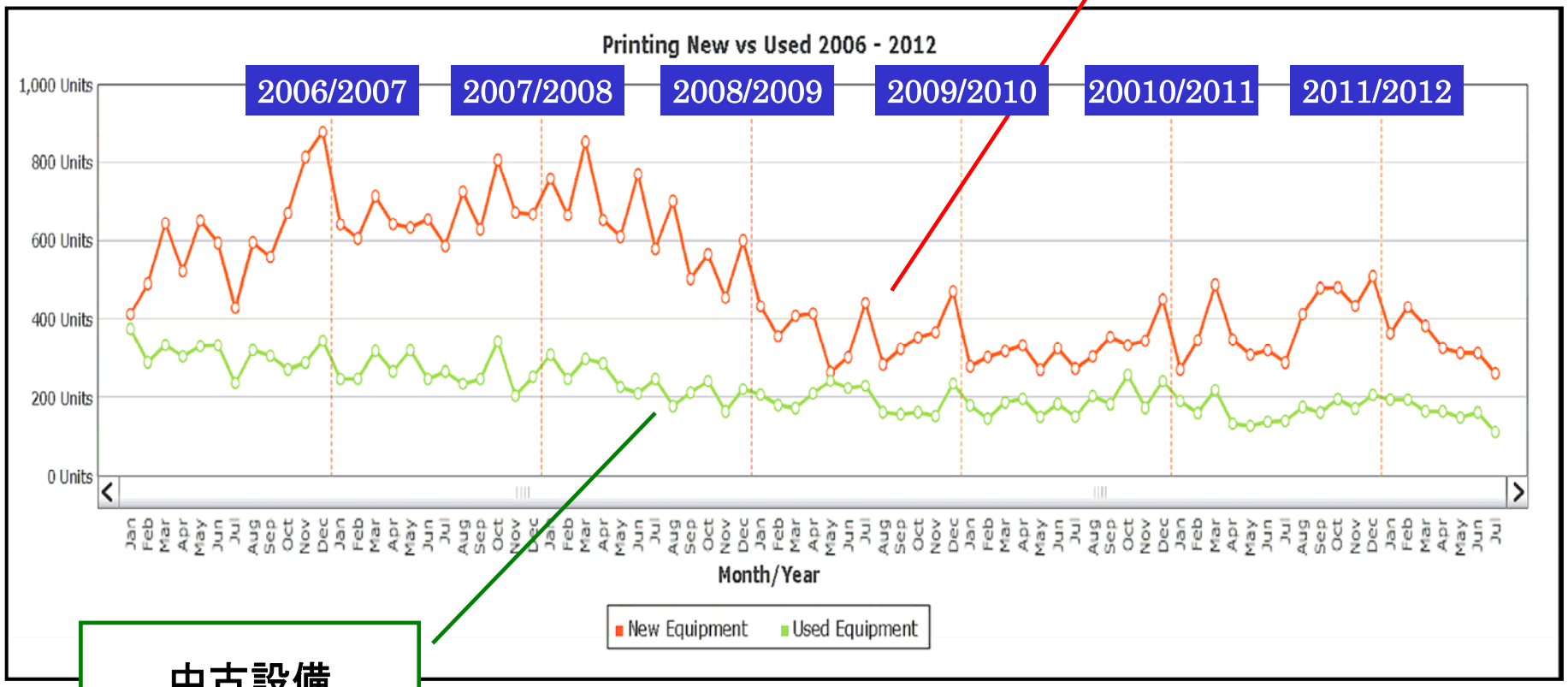


出典：内閣府「海外経済データ」

北米　印刷関連設備投資の動向

■月別販売ユニット数（2006.1−2012.2）

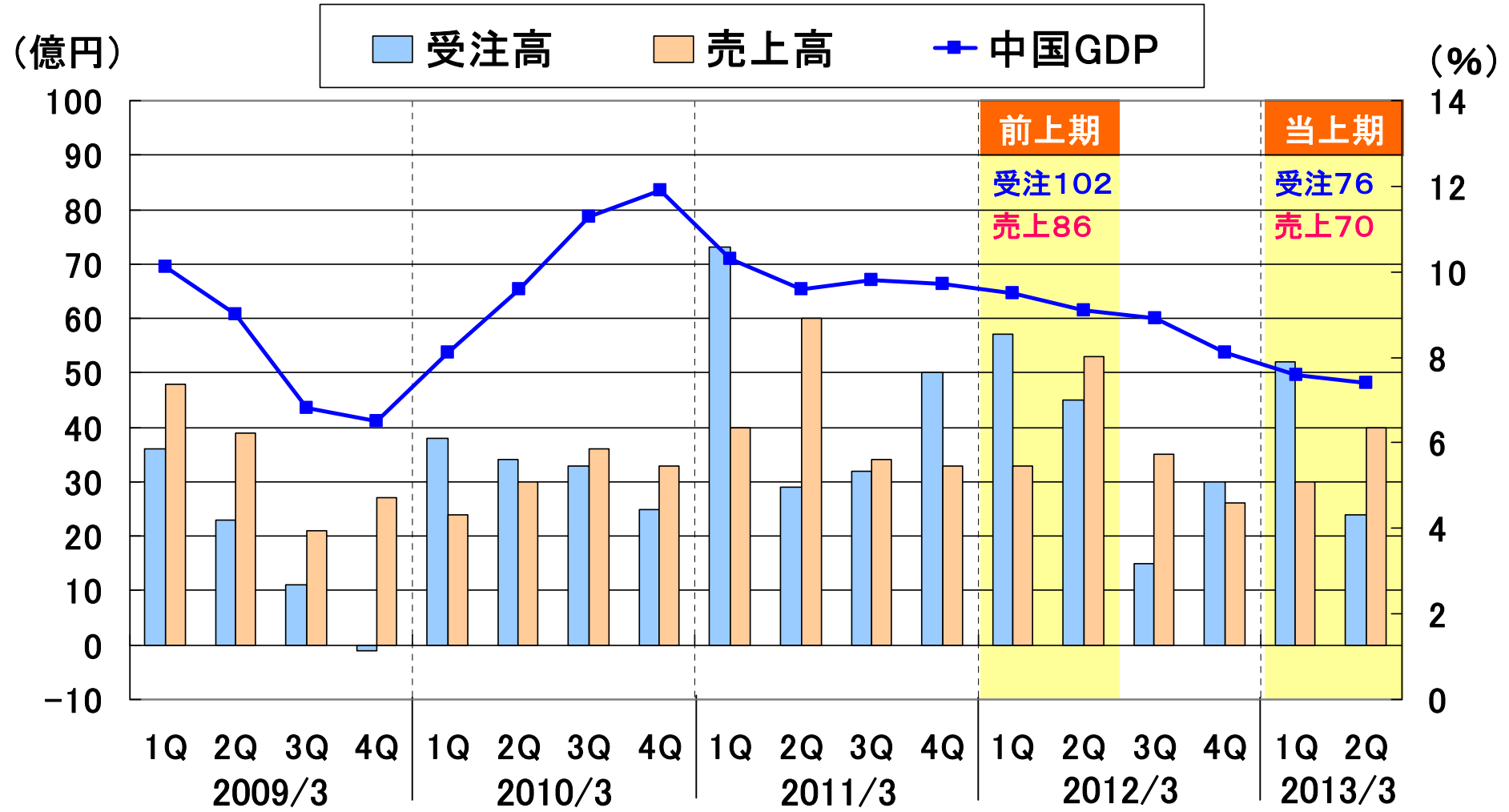
新規設備



中古設備

出典：NPES

中華圏　当社受注高・売上高



業績回復のための施策

①固定費の削減

②コスト競争力の強化

③ドルッパ2012による拡販

④既存事業の周辺ビジネスの拡大

①固定費の削減

希望退職の募集

（目的） 国内グループ人員の最適化を図るため

● 応募結果　276名

■ 希望退職関連費用	1,627百万円
■ 当期人件費の削減効果（見込み）	約　970百万円

②コスト競争力の強化

VE・VA・IEによる生産面でのコスト低減

海外調達の推進と海外生産の実行

- 鋳物、材料、部品の海外調達の実施
- 中国現地製造子会社の設立
  - 設立： 2012年6月
  - 場所： 江蘇省南通市
  - 操業： 2013年1月予定

③ドルッパ2012による拡販

国際総合印刷機材展「drupa2012」への出展

（世界最大の印刷機材展）2012年5月3日～16日／14日間　ドイツ・デュッセルドルフにて開催

◆テーマは「KOMORI OnDemand」

【オフセットオンデマンド】

H-UV・KHS-AI中核とした「オフセットオンデマンド」とデジタル印刷や後加工との効率的な連携を推進し、新たなオフセットオンデマンドソリューションを提案





▲「オフセットオンデマンド」プレゼンテーション

③ドルッパ2012による拡販

オフセット枚葉印刷機　LITHRONE　A37(リスロンA37)

新機種

ターゲット市場

インド・中国・日本をはじめとするアジア圏

中国市場で
20台以上受注

（特徴）

■幅広い印刷ニーズに対応の紙幅

■コンパクトでイニシャルコスト、
ライフコスト（電力・資材等）を低減

■H－UV（オプション）搭載で
バージョンアップ可能



LITHRONE A37

④既存事業の周辺ビジネスの拡大

PESP事業の拡大

（Print　Engineering Service　Provider）

印刷機器関連システム・印刷資材さらには
印刷のノウハウの提供を推進

2012年9月
「PESP事業推進部」を新設

④既存事業の周辺ビジネスの拡大（PESP取り扱い商品）

PESP取り扱い商品

オフセット・オンデマンド、デジタル・オンデマンドを印刷業界で実現するためのホールプロダクトをラインナップ。

名刺カッター
きりっ子MC-01 岩崎通信機



ミシン目・スリッター
きりとれーるLP-117
ライオン事務機





APC－45
ホリゾン

断裁
NCW-137HHD9 永井機械製作所



SCREEN



PlateRite HD 8900

K-ColorSimulator



ラミネート・PP貼り
GL865PRO-LM GBC





bizhub PRESS C8000
デジタル・オンデマンド
KONICA MINOLTA



LITHRONE S26 H-UV
Offset OnDemand
KOMORI CORPORATION

EPSON
EXCEED YOUR VISION



MAXART
PX-H9000



CF2-0907RC-S
ミマキエンジニアリング
ダイカット・ハーフカット



折り
AFC－746A



H－UV用湿し水
KG－501
小森コーポレーション



H－UV用インキローラー
H－UV用給水ローラー
小森コーポレーション

K-Supply

上製本
HCB－2



中綴じ製本ライン
StitchLiner6000



製本
Horizon
三方断裁機ＨＴ－１１０
無線綴じ機ＢＱ－４７０
万力丁合機ＭＧ－１２０
丁合機VAC-120



注：標記型式は一例です。これ以外にも各種取扱いがあります。

新規事業の展開

①証券印刷機システムの海外市場への拡販

②デジタル印刷機事業の取組み

③PE事業の推進

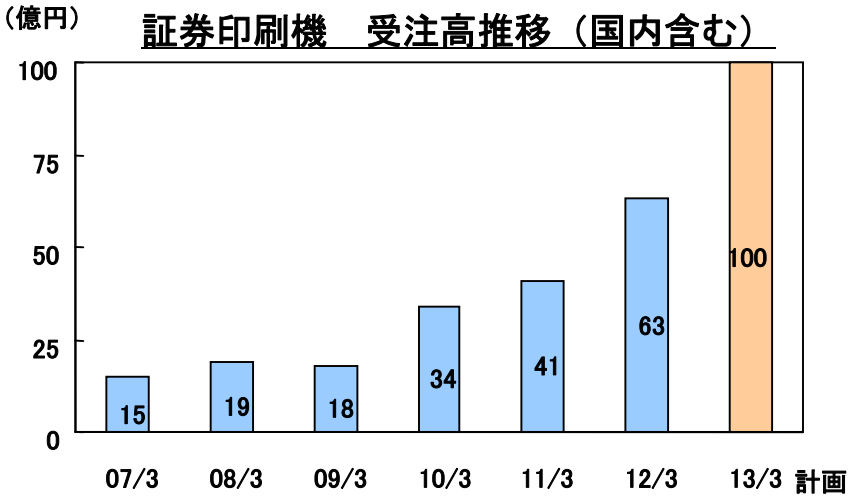
①証券印刷機システムの海外市場への拡販

■ フィリピン中央銀行から紙幣印刷設備1ライン受注

・2010年の1ラインに続く大型受注

■ タイ向け番号機、中国向け紙幣印刷機受注

■ 他有力案件複数有り、下期に期待





▲ 紙幣用凹版印刷機 「CURRENCY IC532Ⅲ」

②デジタル印刷機事業の取り組み

国際総合印刷機材展「drupa2012」への出展

（世界最大の印刷機材展）2012年5月3日～16日／14日間　ドイツ・デュッセルドルフにて開催

【デジタルオンデマンド】のソリューションを提案

- 商業印刷市場における短納期、少量印刷、バリアブル印刷の要望の高まり
- POD、枚葉/輪転のインクジェットデジタル印刷機を出展（技術展示）



▲「デジタルオンデマンド」プレゼンテーション



drupa2012出展のデジタル印刷機



Impremia C80

フルカラーデジタルプリンティングシステム

日本・北米・欧州・中国で販売開始



技術展示

Impremia IS 29

29インチ枚葉式インクジェットデジタルシステム



技術展示

Impremia IW 20

20インチ巻紙式インクジェットデジタルシステム

②デジタル印刷機事業の取り組み

イスラエル・ランダコーポレーションとグローバルな戦略的提携に合意

ランダ社によるナノグラフィ印刷技術とランダ・ナノインクの提供

⇒次世代デジタル印刷機の製造・販売に向けて前進





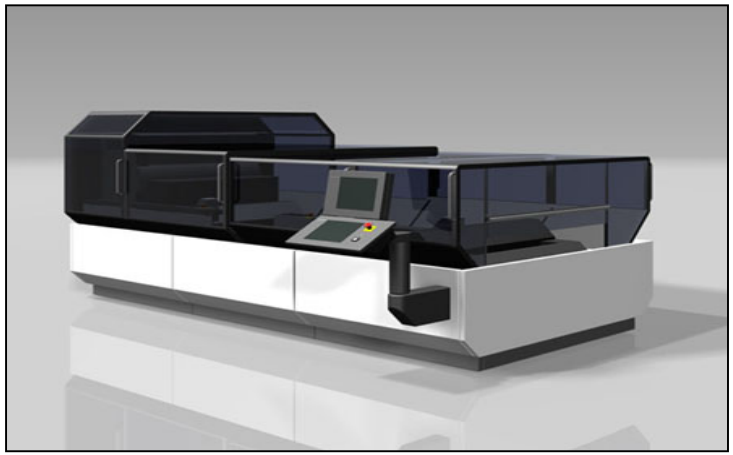
▲ drupa2012出展のランダ社のデジタル印刷機

③PE事業の推進： グラビア・オフセット印刷機の開発

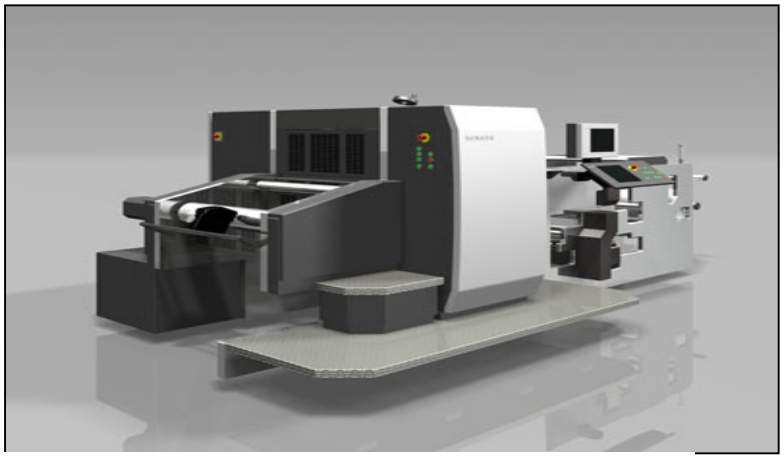
スマートフォン等、タッチパネルの精密配線を高精度印刷で実現

- ・端末の小型化と画面の大型化を両立
- ・低設備投資額で高細線化、高生産性を可能に

国際タッチパネル・光学フィルム展示会（2012/8：台湾）に出展、受注開始



▲ PEPIO F20（対象基材：フィルム、ガラス）



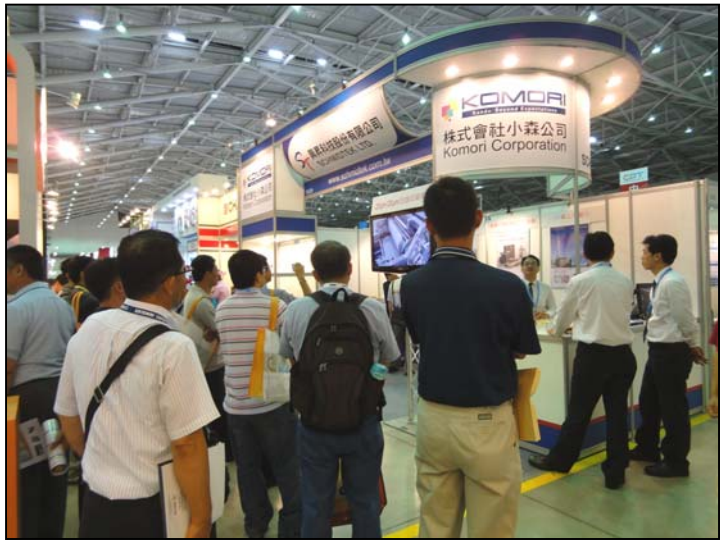
▲ PEPIO R20（対象基材：ロールフィルム）

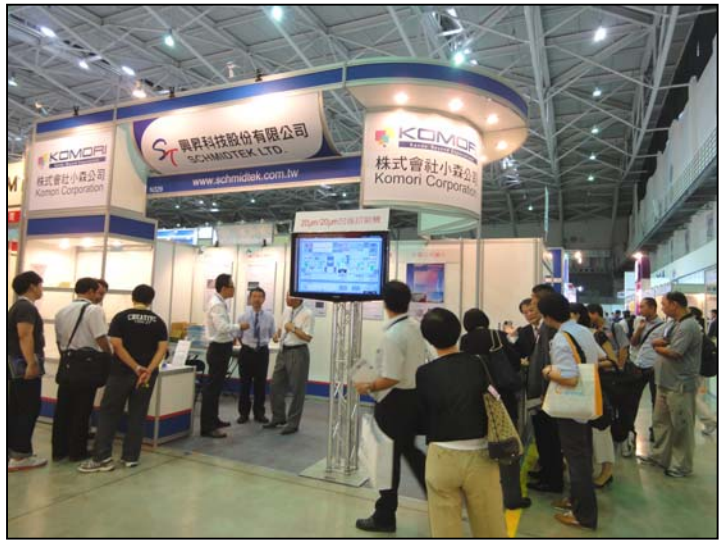
③PE事業の推進： グラビア・オフセット印刷機の開発

「国際タッチパネル・光学フィルム展示会」への出展

2012年8月29日～31日　　台湾：台北市にて開催

・台湾タッチパネルメーカー26社、70名が当社ブースに来場
・日本、韓国、中国、米国からも合計100社、160名を超える来客






KOMORI
Kando:Beyond Expectations

平成25年３月期 第２四半期
業績および通期見通し

平成24年10月30日

株式会社小森コーポレーション

Copyright © 2008 Corporation. All Rights reserved.

決算概要

（単位：億円）

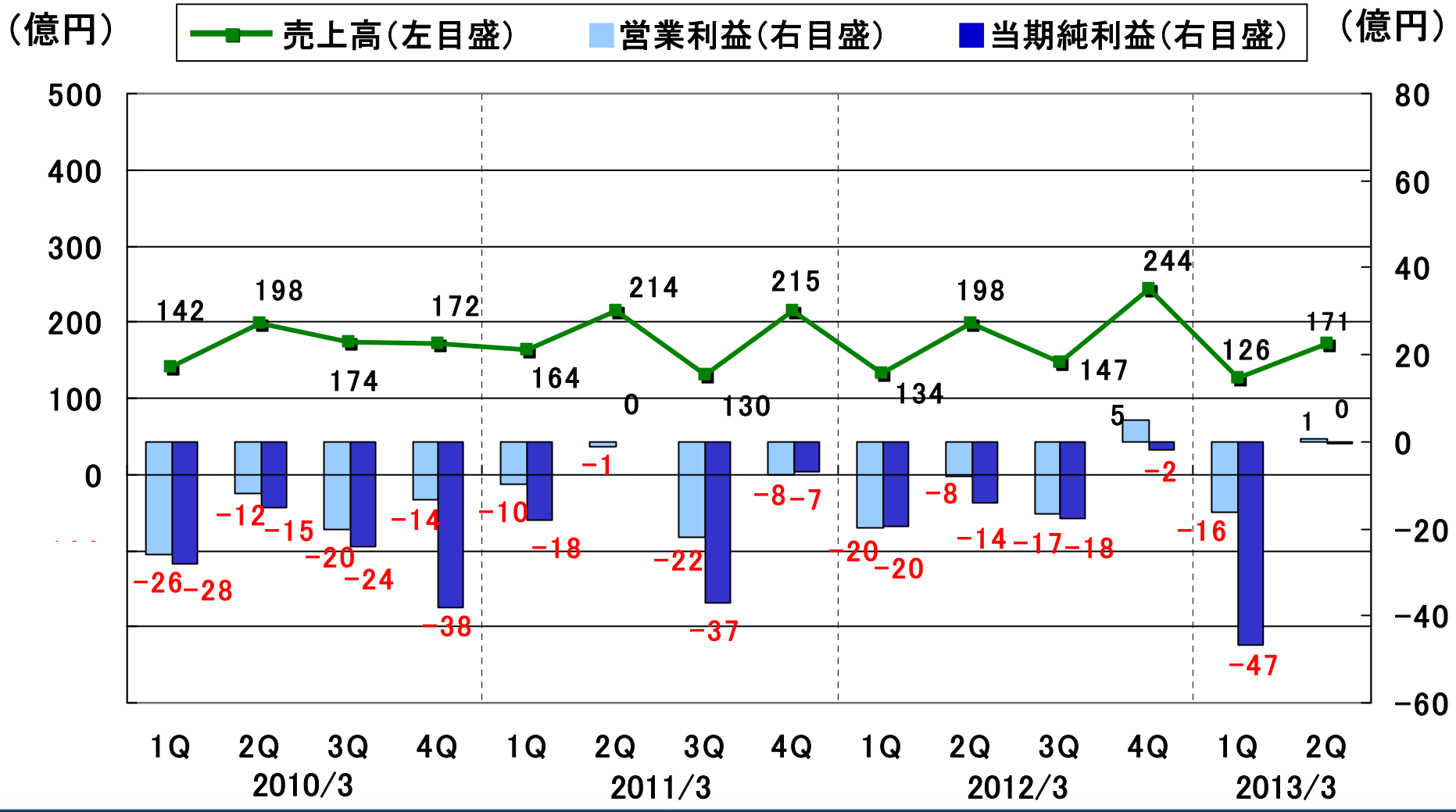
		2013/3 上期実績	2012/3 上期実績	差額	前年同期比	1Q修正 2013/3 上期計画	差額	計画比
受注高		357	394	△38	90%	375	△18	95%
売上高		297	332	△35	90%	305	△8	98%
営業利益		△16	△28	12	－	△21	5	－
経常利益		△23	△34	11	－	△30	7	－
当期純利益		△47	△34	△14	－	△54	7	－
平均レート（円）	US$	79.43	79.73			80.23		
	EUR	101.12	114.09			100.63		
期末レート（円）	US$	77.60	76.65			80.00		
	EUR	100.24	104.11			97.00		

主な資産・負債

（単位：億円）

	当上期末 2012.9.30	前期末 2012.3.31	差額
現金・預金	369	454	△85
売上債権	158	201	△44
有価証券	45	23	22
棚卸資産	275	270	5
うち製品	151	133	18
有形固定資産	333	341	△8
無形固定資産	19	21	△1
仕入債務	136	138	△2
短期借入金	14	71	△57
長期借入金	5	7	△2
株主資本	1,103	1,157	△53
総資産	1,363	1,493	△130

売上高・営業利益・当期純利益



地域別受注高

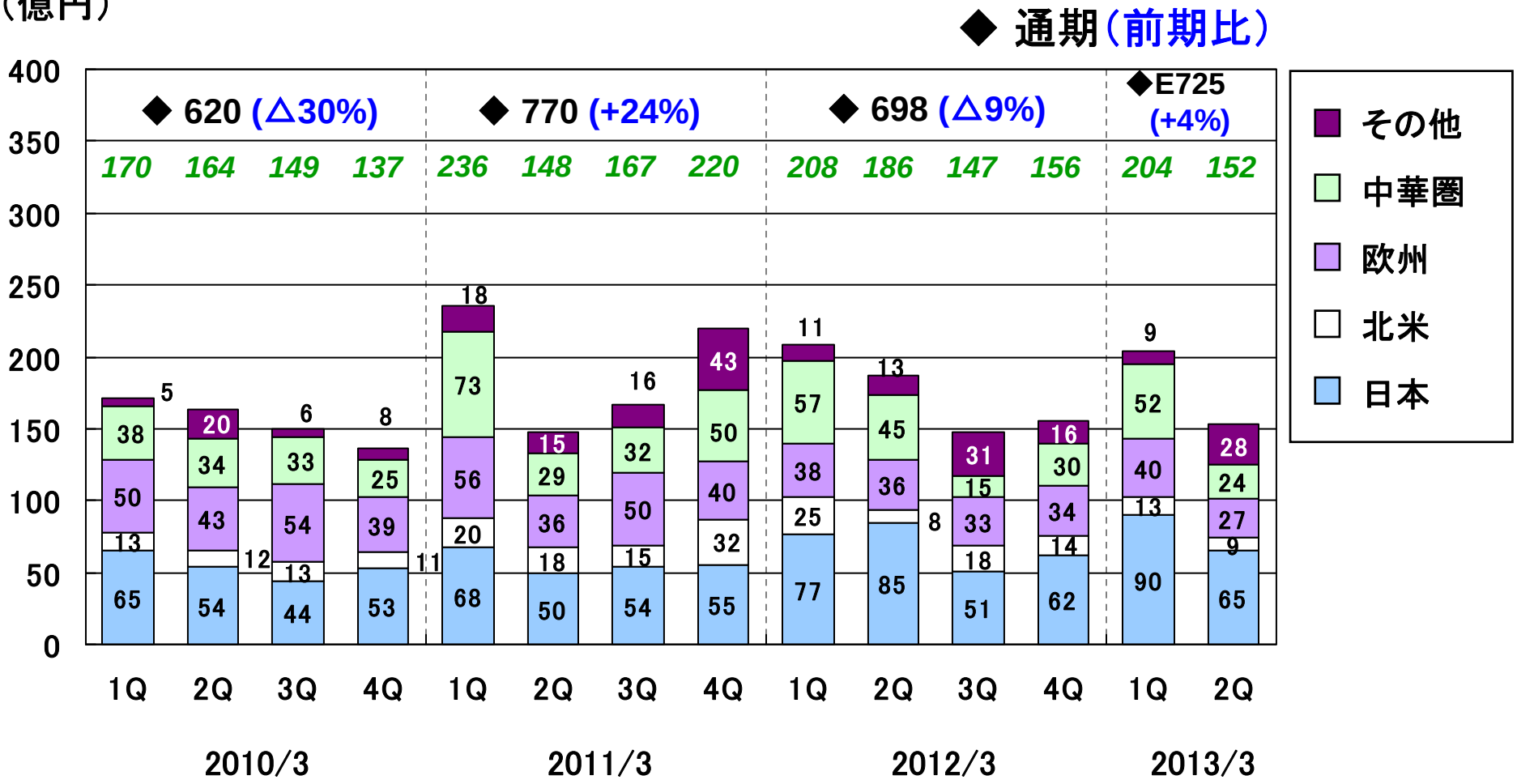
（単位：億円）

		2013/3 上期実績	2012/3 上期実績	前年 同期比	1Q修正 2013/3 上期計画	計画比
日本		155	162	96%	167	93%
北米		22	33	67%	31	70%
	（百万ドル）	(27)	(41)	(67%)	(39)	(71%)
欧州		67	73	91%	62	109%
	（百万ユーロ）	(66)	(64)	(103%)	(61)	(108%)
中華圏*		76	102	74%	89	85%
	中国本土	64	85	75%	73	88%
	香港	6	13	52%	11	60%
	台湾	5	4	124%	5	96%
その他地域		37	25	149%	26	143%
合計		357	394	90%	375	95%

＊中華圏： 中国本土 ＋ 香港 ＋ 台湾

地域別受注高

（億円）

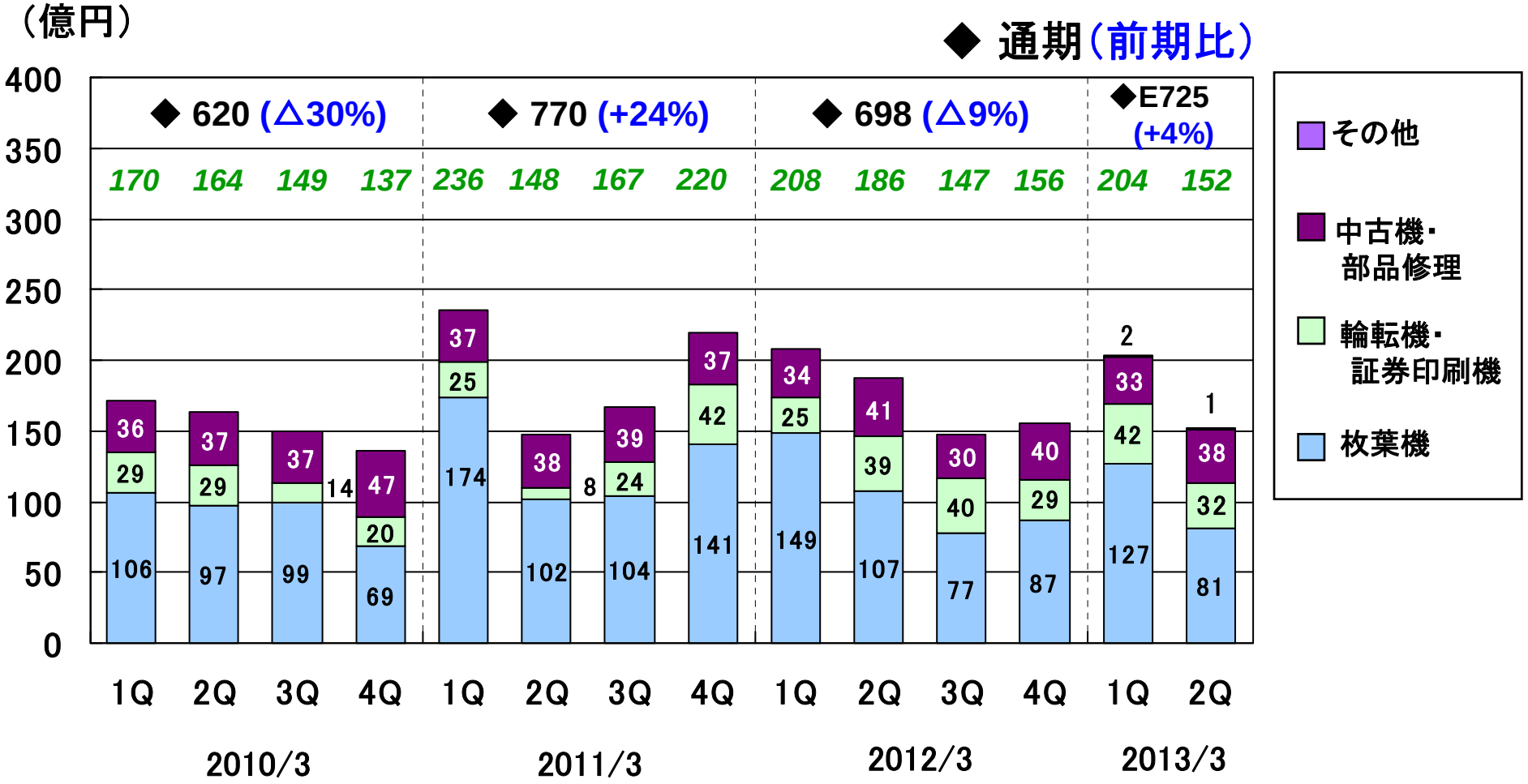

◆ 通期（前期比）
◆ 620 (△30%)
◆ 770 (+24%)
◆ 698 (△9%)
◆E725 (+4%)
170 164 149 137 236 148 167 220 208 186 147 156 204 152
400
350
300
250
200
150
100
50
0
その他
中華圏
欧州
北米
日本
1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q
2010/3
2011/3
2012/3
2013/3

品目別受注高

（単位：億円）

	2013/3 上期実績	2012/3 上期実績	前年同期比	1Q修正 2013/3 上期計画	計画比
枚葉機	209	256	82%	244	86%
うち国内	75	77	98%	83	90%
輪転機・証券印刷機	74	63	117%	58	126%
うち国内	36	48	76%	40	90%
中古機・部品修理	71	75	94%	69	103%
うち国内	41	37	112%	40	102%
その他	3	－	－	4	85%
うち国内	3	－	－	3	80%
合計	357	394	90%	375	95%

品目別受注高


（億円）
◆ 通期（前期比）
◆ 620 (△30%)
◆ 770 (+24%)
◆ 698 (△9%)
◆E725 (+4%)
その他
中古機・部品修理
輪転機・証券印刷機
枚葉機
400
350
300
250
200
150
100
50
0
170 164 149 137 236 148 167 220 208 186 147 156 204 152
36 29 106
37 29 97
37 14 99
47 20 69
37 25 174
38 8 102
39 24 104
37 42 141
34 25 149
41 39 107
30 40 77
40 29 87
2 33 42 127
1 38 32 81
1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q
2010/3
2011/3
2012/3
2013/3

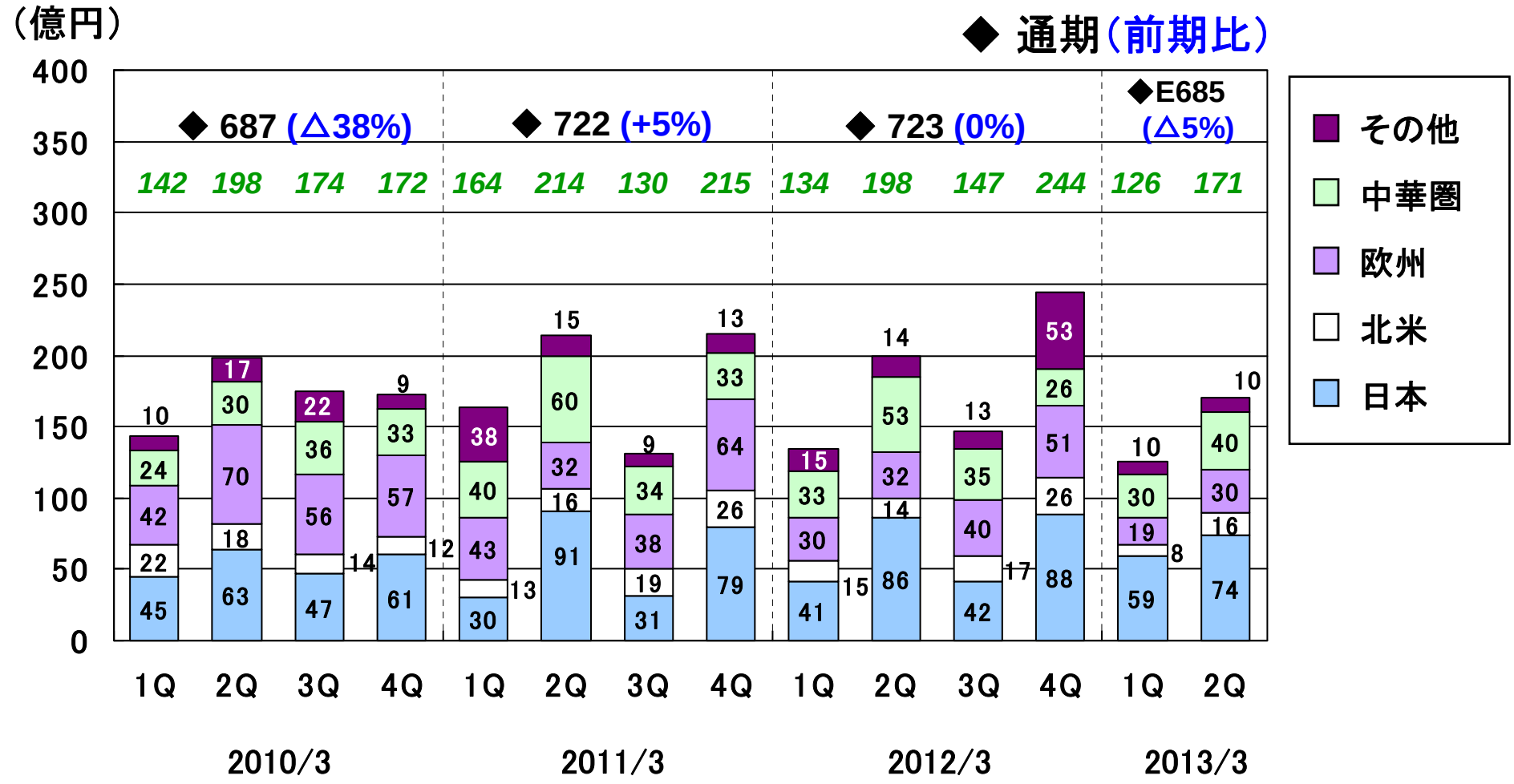
地域別売上高

（単位：億円）

		2013/3 上期実績	2012/3 上期実績	前年 同期比	1Q修正 2013/3 上期計画	計画比
日本		133	127	105%	127	105%
北米		25	29	87%	28	88%
	（百万ドル）	(31)	(36)	(87%)	(35)	(89%)
欧州		49	61	80%	53	93%
	（百万ユーロ）	(49)	(54)	(90%)	(53)	(92%)
中華圏*		70	86	82%	76	93%
	中国本土	55	63	87%	56	98%
	香港	15	11	130%	18	81%
	台湾	0	11	2%	1	23%
その他地域		20	30	68%	21	96%
合計		297	332	90%	305	98%

＊中華圏： 中国本土 ＋ 香港 ＋ 台湾

地域別売上高

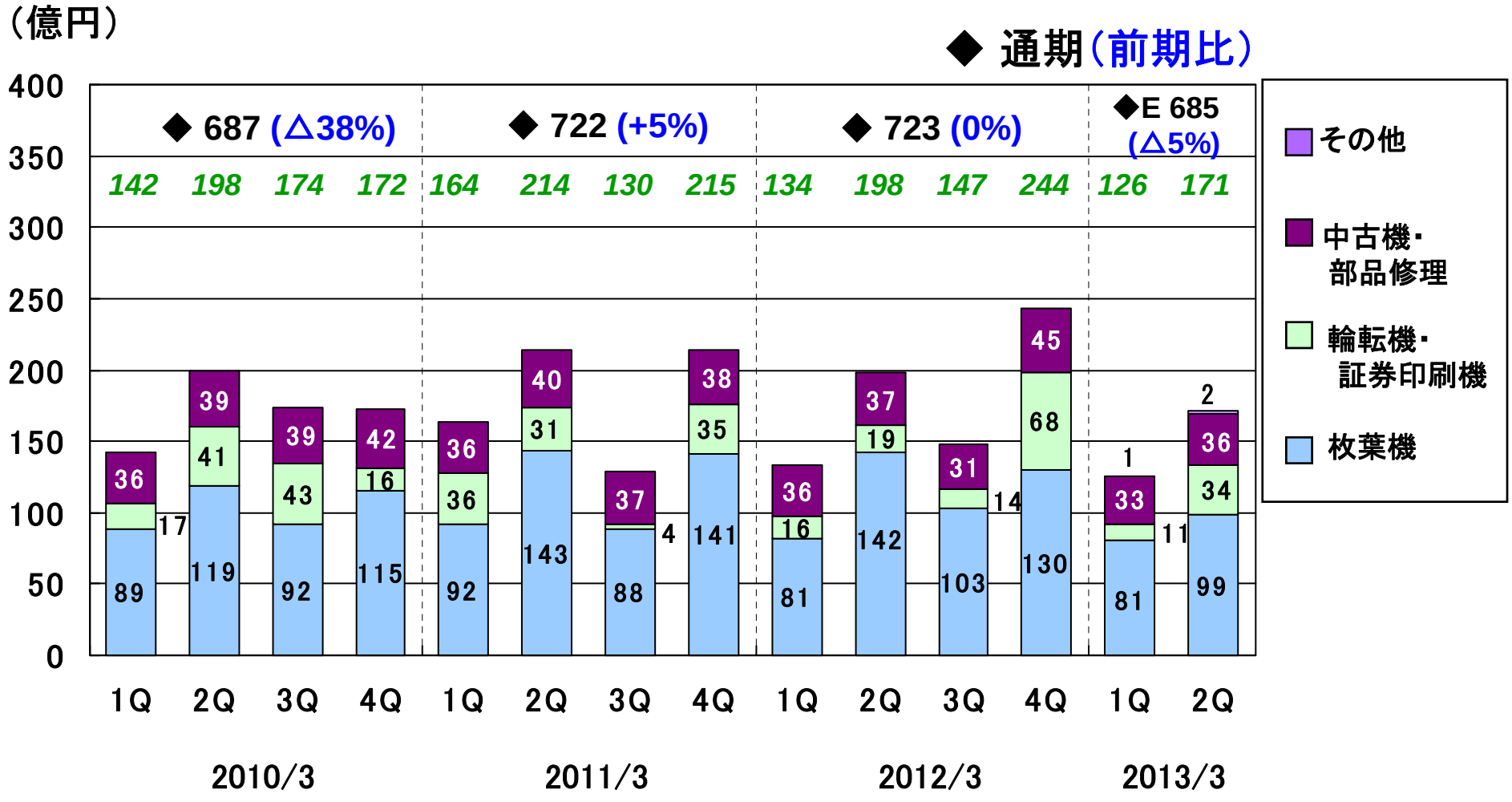

（億円）
◆ 通期（前期比）
◆ 687 (△38%)
◆ 722 (+5%)
◆ 723 (0%)
◆E685 (△5%)
142 198 174 172 164 214 130 215 134 198 147 244 126 171
その他
中華圏
欧州
北米
日本
400
350
300
250
200
150
100
50
0
1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q
2010/3
2011/3
2012/3
2013/3

品目別売上高

（単位：億円）

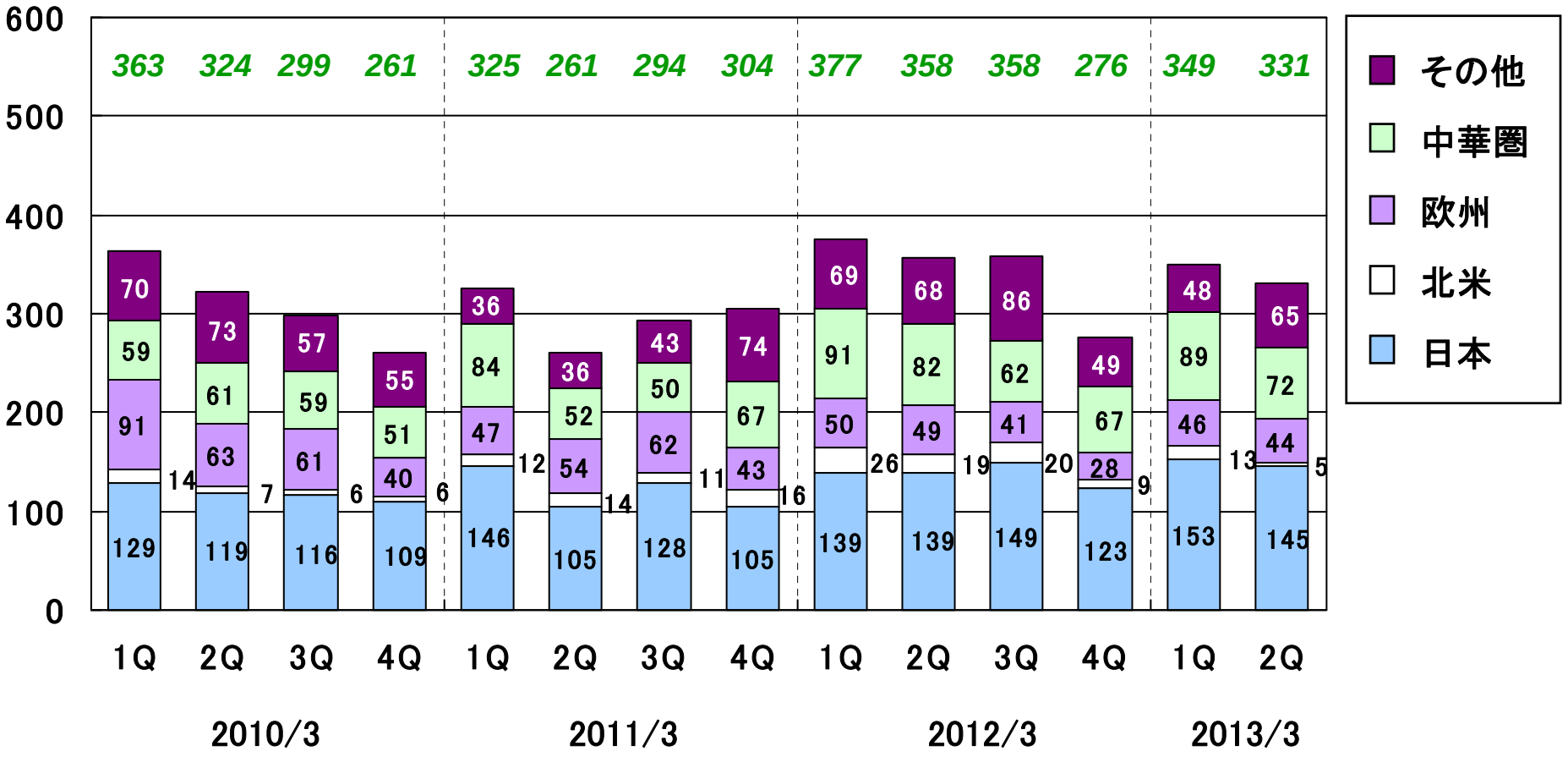
	2013/3 上期実績	2012/3 上期実績	前年同期比	1Q修正 2013/3 上期計画	計画比
枚葉機	180	223	81%	188	96%
うち国内	62	66	94%	62	100%
輪転機・証券印刷機	46	35	129%	44	103%
うち国内	30	26	117%	24	126%
中古機・部品修理	69	73	94%	69	100%
うち国内	39	35	113%	38	102%
その他	3	－	－	3	83%
うち国内	2	－	－	3	77%
合計	297	332	90%	305	98%

品目別売上高


（億円）
◆ 通期（前期比）
◆ 687 (△38%)
◆ 722 (+5%)
◆ 723 (0%)
◆E 685 (△5%)
142 198 174 172 164 214 130 215 134 198 147 244 126 171
400
350
300
250
200
150
100
50
0
その他
中古機・部品修理
輪転機・証券印刷機
枚葉機
36 17 89
39 41 119
39 43 92
42 16 115
36 36 92
40 31 143
37 4 88
38 35 141
36 16 81
37 19 142
31 14 103
45 68 130
1 33 11 81
2 36 34 99
1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q
2010/3
2011/3
2012/3
2013/3

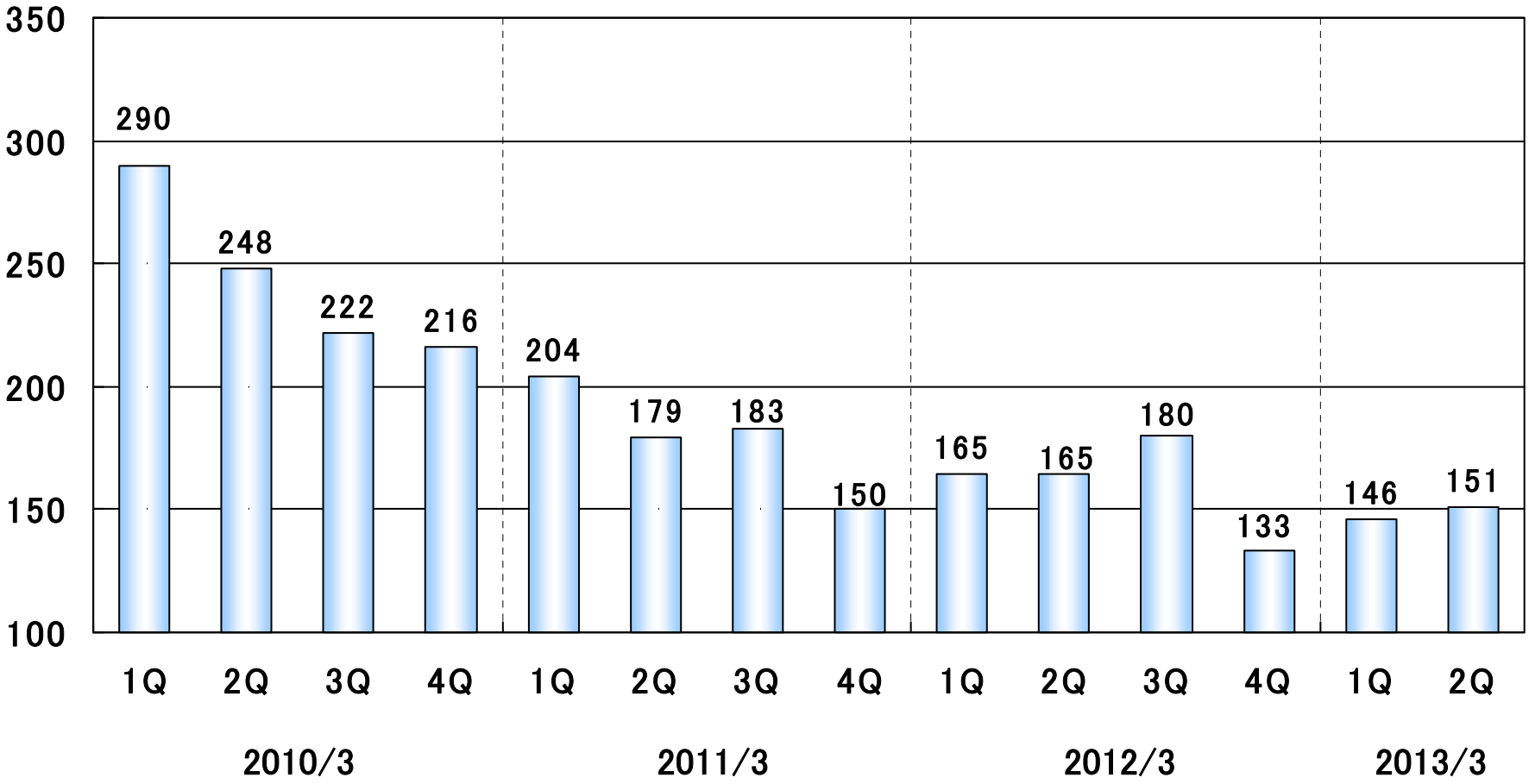
受注残高の推移

（億円）

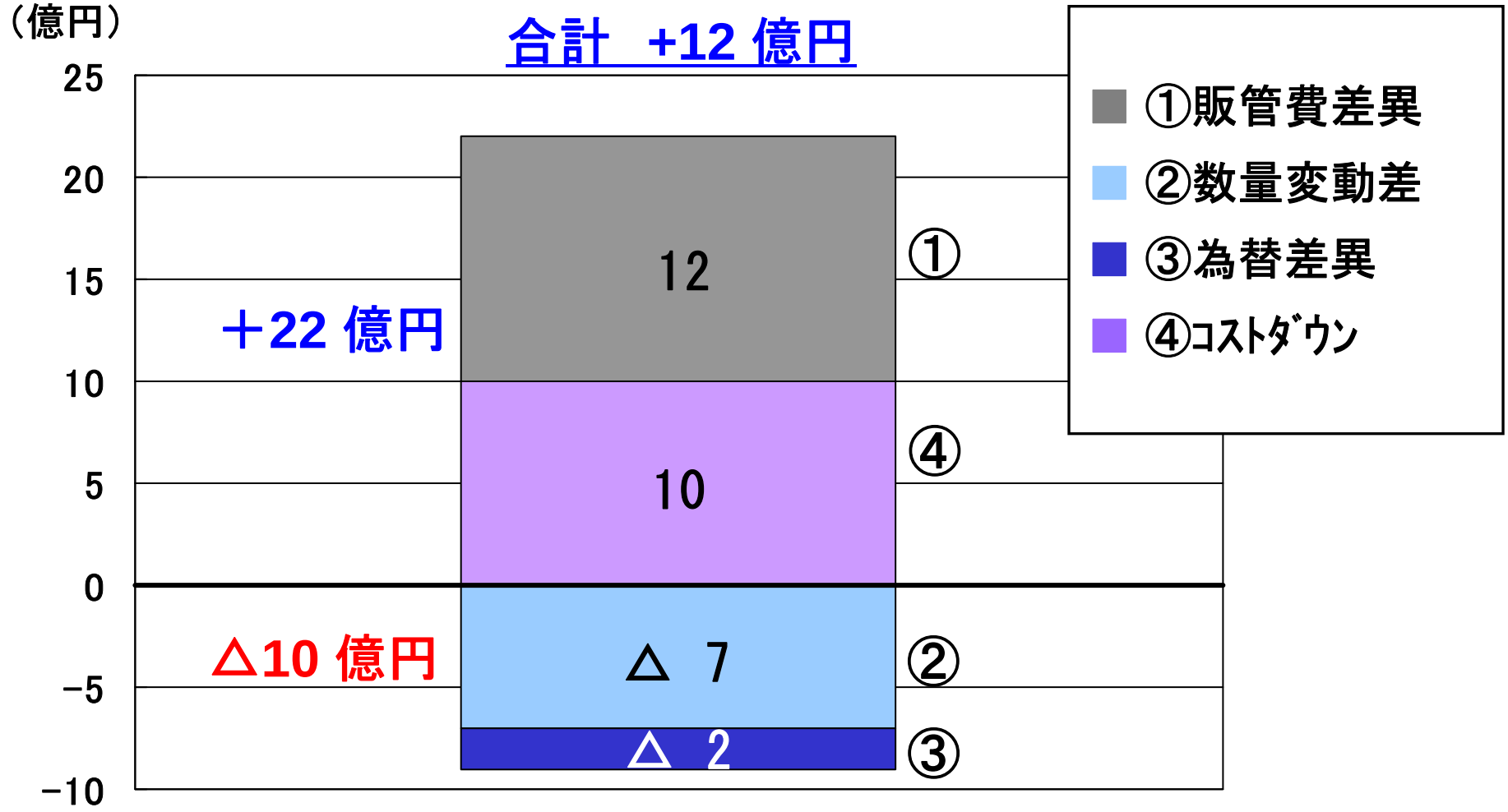

600
500
400
300
200
100
0
363 324 299 261 325 261 294 304 377 358 358 276 349 331
70 59 91 14 129
73 61 63 7 119
57 59 61 6 116
55 51 40 6 109
36 84 47 12 146
36 52 54 14 105
43 50 62 11 128
74 67 43 16 105
69 91 50 26 139
68 82 49 19 139
86 62 41 20 149
49 67 28 9 123
48 89 46 13 153
65 72 44 5 145
1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q
2010/3 2011/3 2012/3 2013/3
その他
中華圏
欧州
北米
日本

製品在庫の推移(原価ベース)

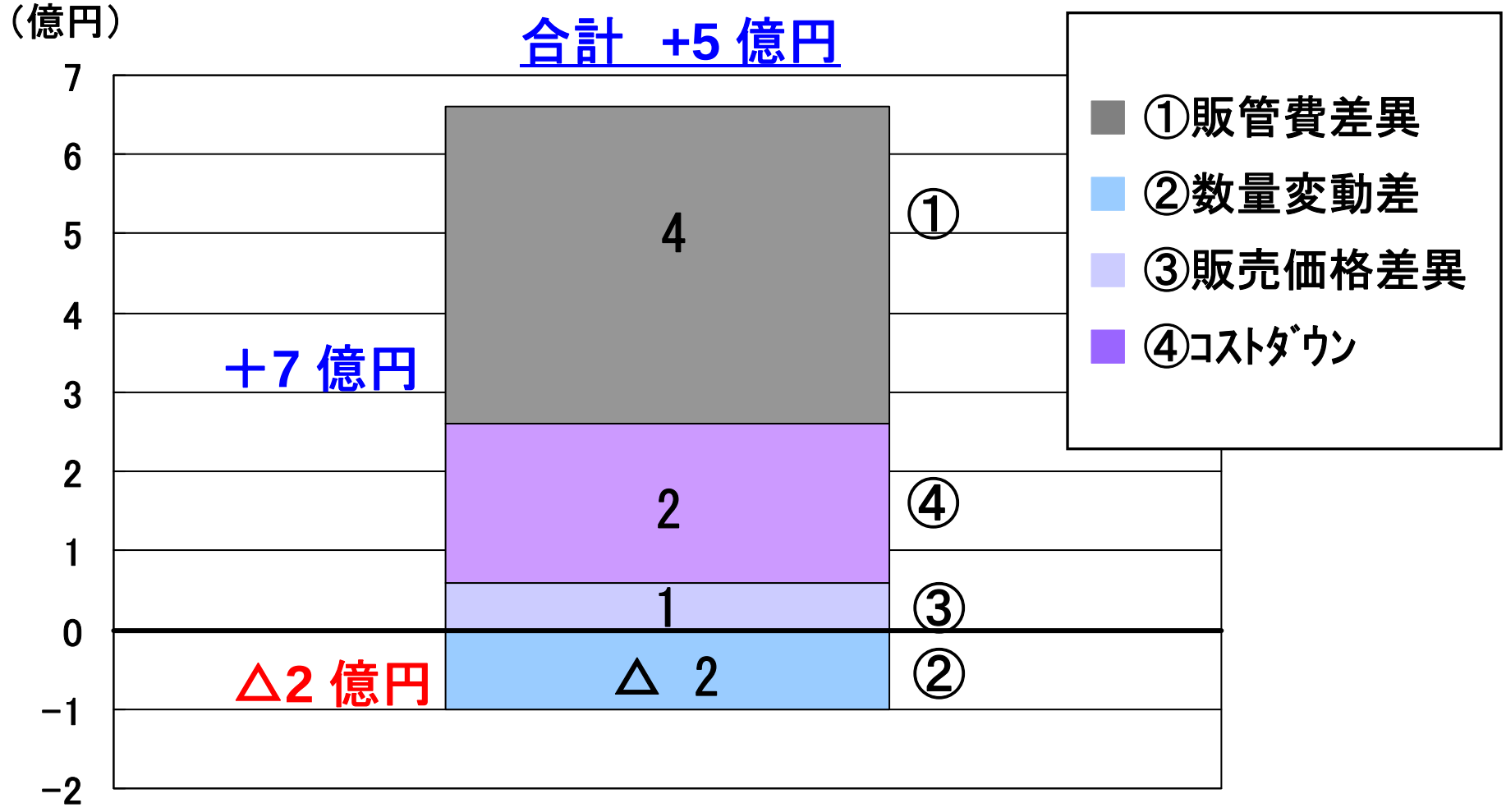
(億円)



上期営業損益の変動要因(対 前年同期比)



上期営業損益の変動要因(対 計画比)



業績見通し

（単位：億円）

		2013/3 上期実績	<2Q修正> 2013/3 下期計画	<2Q修正> 2013/3 通期計画	2012/3 前期実績	差額	前期比	<修正前> 2013/3 通期計画	差額
受注高		357	368	725	698	27	104%	783	△58
売上高		297	388	685	723	△38	95%	728	△43
営業利益		△16	11	△5	△40	35	－	△5	0
経常利益		△23	13	△10	△43	33	－	△14	400
当期純利益		△47	8	△39	△53	14	－	△39	0
平均レート（円）	US$	79.43	80.00	79.69	79.30			80.12	
	EUR	101.12	100.00	100.60	110.17			98.95	
期末レート（円）	US$	77.60	80.00	80.00	82.19			80.00	
	EUR	100.24	100.00	100.00	109.80			97.00	

地域別受注高 予想

（単位：億円）

	2013/3 上期実績	<2Q修正> 2013/3 下期計画	<2Q修正> 2013/3 通期計画	2012/3 前期実績	差額	前期比
日本	155	168	323	275	48	117%
北米	22	40	62	65	△3	96%
（百万ドル）	(27)	(50)	(78)	(81)	(△4)	(96%)
欧州	67	48	115	140	△25	82%
（百万ユーロ）	(66)	(48)	(114)	(127)	(△13)	(90%)
中華圏*	76	56	132	147	△16	89%
中国本土	64	35	98	117	△18	84%
香港	6	11	18	25	△7	71%
台湾	5	10	16	6	10	272%
その他地域	37	57	93	71	23	132%
合計	357	368	725	698	27	104%

＊中華圏： 中国本土 ＋ 香港 ＋ 台湾

品目別受注高 予想

（単位：億円）

	2013/3 上期実績	<2Q修正> 2013/3 下期計画	<2Q修正> 2013/3 通期計画	2012/3 前期実績	差額	前期比
枚葉機	209	210	419	420	0	100%
うち国内	75	91	166	133	33	125%
輪転機・証券印刷機	74	72	145	132	13	110%
うち国内	36	27	64	71	△7	90%
中古機・部品修理	71	75	146	146	0	100%
うち国内	41	38	79	72	7	110%
その他	3	12	15	－	－	－
うち国内	3	12	15	－	－	－
合計	357	368	725	698	27	104%

地域別売上高 予想

（単位：億円）

		2013/3 上期実績	<2Q修正> 2013/3 下期計画	<2Q修正> 2013/3 通期計画	2012/3 前期実績	差額	前期比
日本		133	180	313	257	56	122%
北米		25	29	54	72	△18	75%
	（百万ﾄﾞﾙ）	(31)	(37)	(68)	(91)	(△23)	(75%)
欧州		49	70	119	152	△33	78%
	（百万ユーロ）	(49)	(70)	(118)	(138)	(△20)	(86%)
中華圏*		70	61	131	147	△16	89%
	中国本土	55	87	98	113	△15	87%
	香港	15	10	25	20	5	128%
	台湾	0	7	7	14	△6	54%
その他地域		20	48	68	96	△27	71%
合計		297	388	685	723	△38	95%

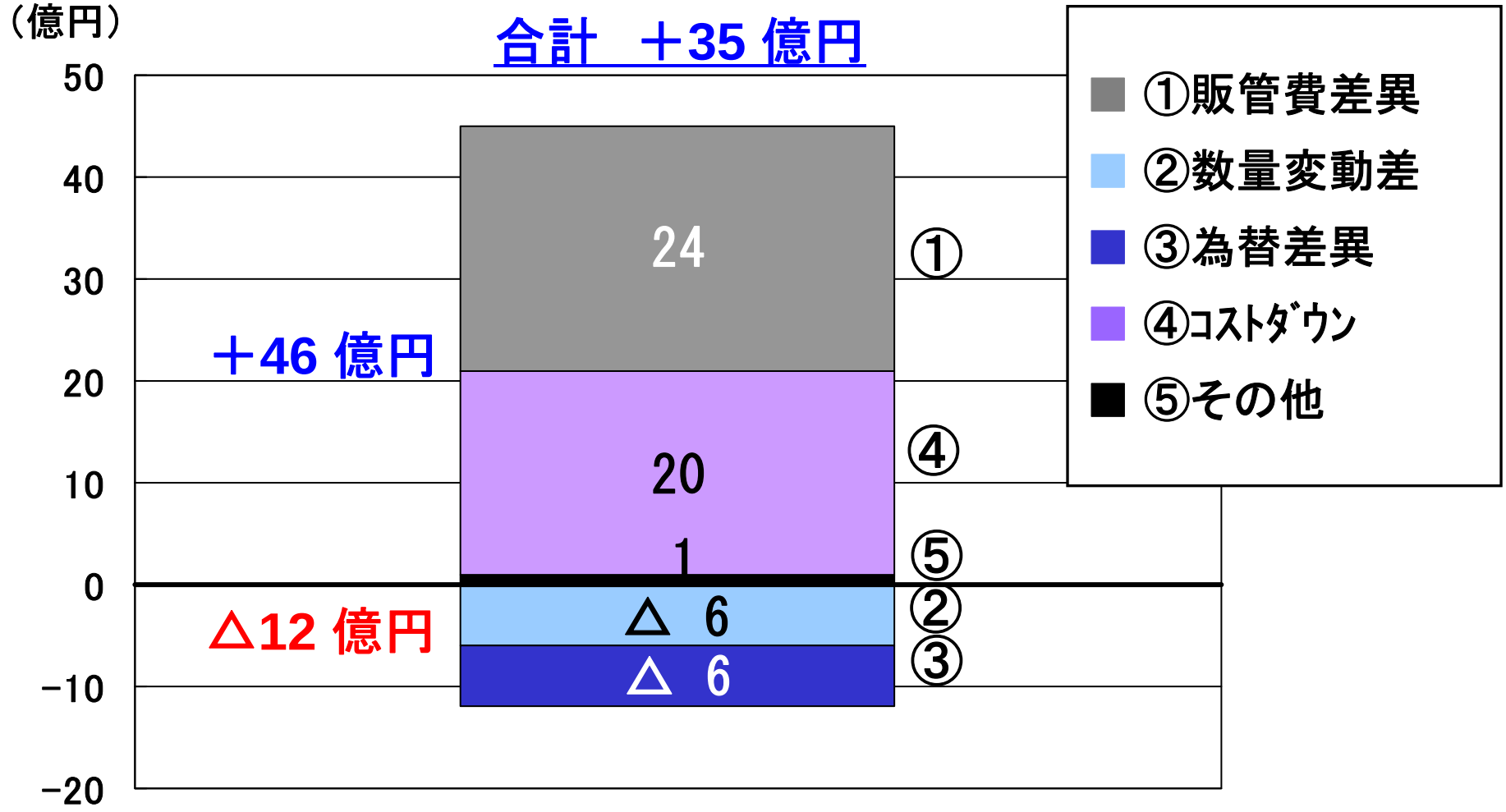
＊中華圏： 中国本土 ＋ 香港 ＋ 台湾

品目別売上高 予想

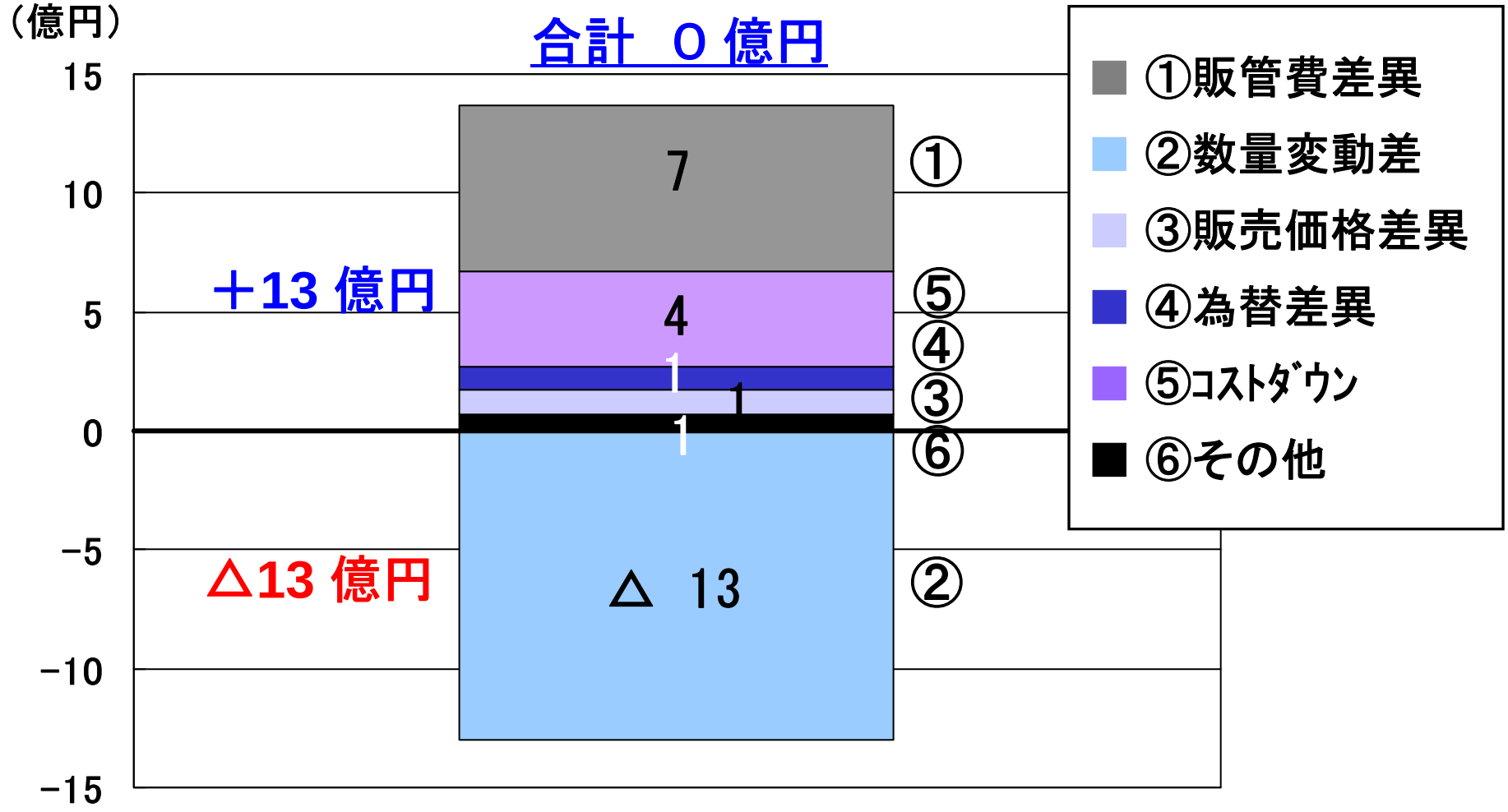
（単位：億円）

	2013/3 上期実績	<2Q修正> 2013/3 下期計画	<2Q修正> 2013/3 通期計画	2012/3 前期実績	差額	前期比
枚葉機	180	218	398	456	△58	87%
うち国内	61	89	151	132	19	115%
輪転機・証券印刷機	46	84	130	118	12	110%
うち国内	30	42	72	54	18	133%
中古機・部品修理	69	75	144	149	△5	97%
うち国内	39	38	77	71	6	108%
その他	3	10	13	–	–	–
うち国内	2	10	13	–	–	–
合計	297	388	685	723	△38	95%

通期営業損益(予想)の変動要因(対 前期比)



通期営業損益(予想)の変動要因(対 期初計画比)

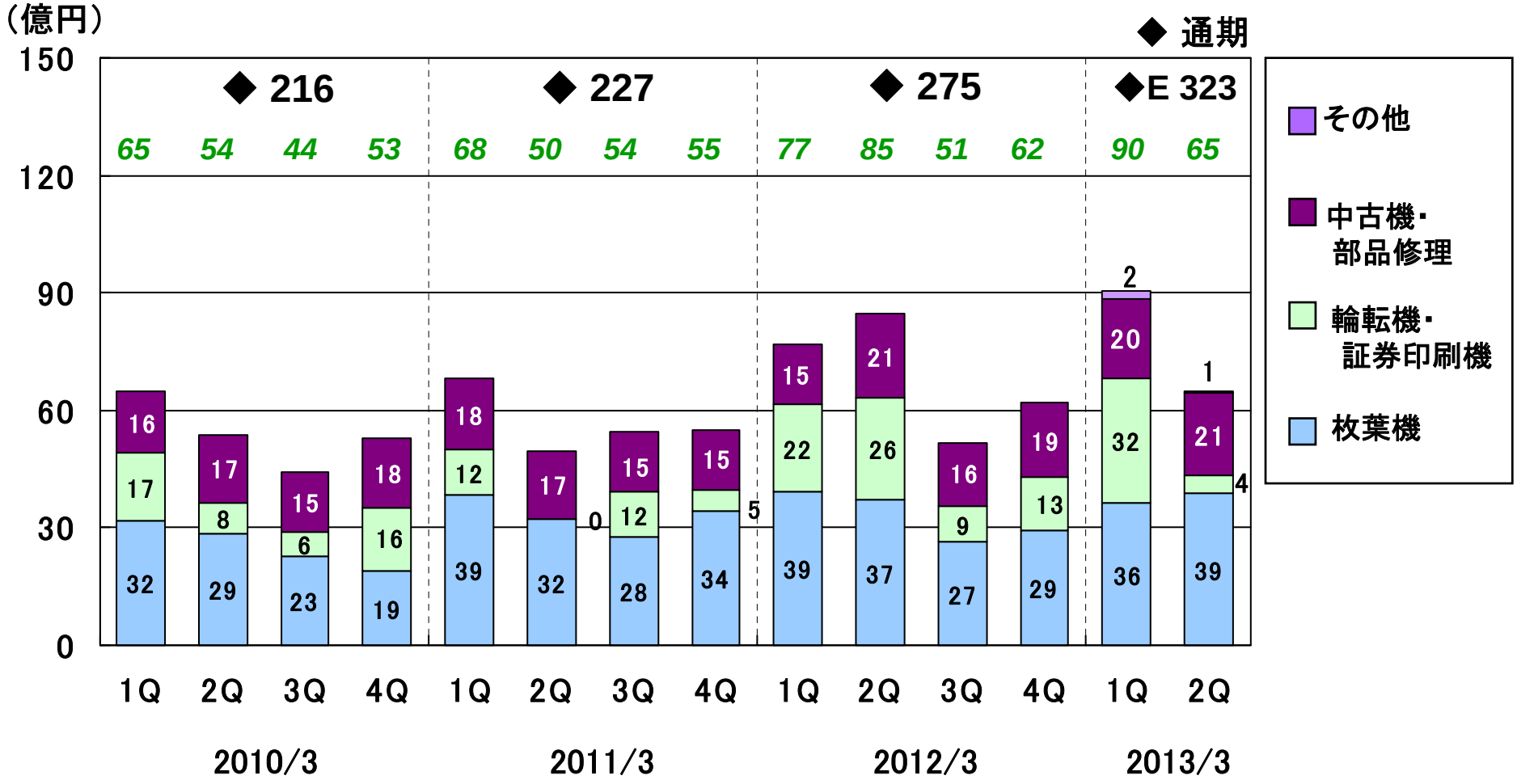


設備投資・減価償却費・開発費

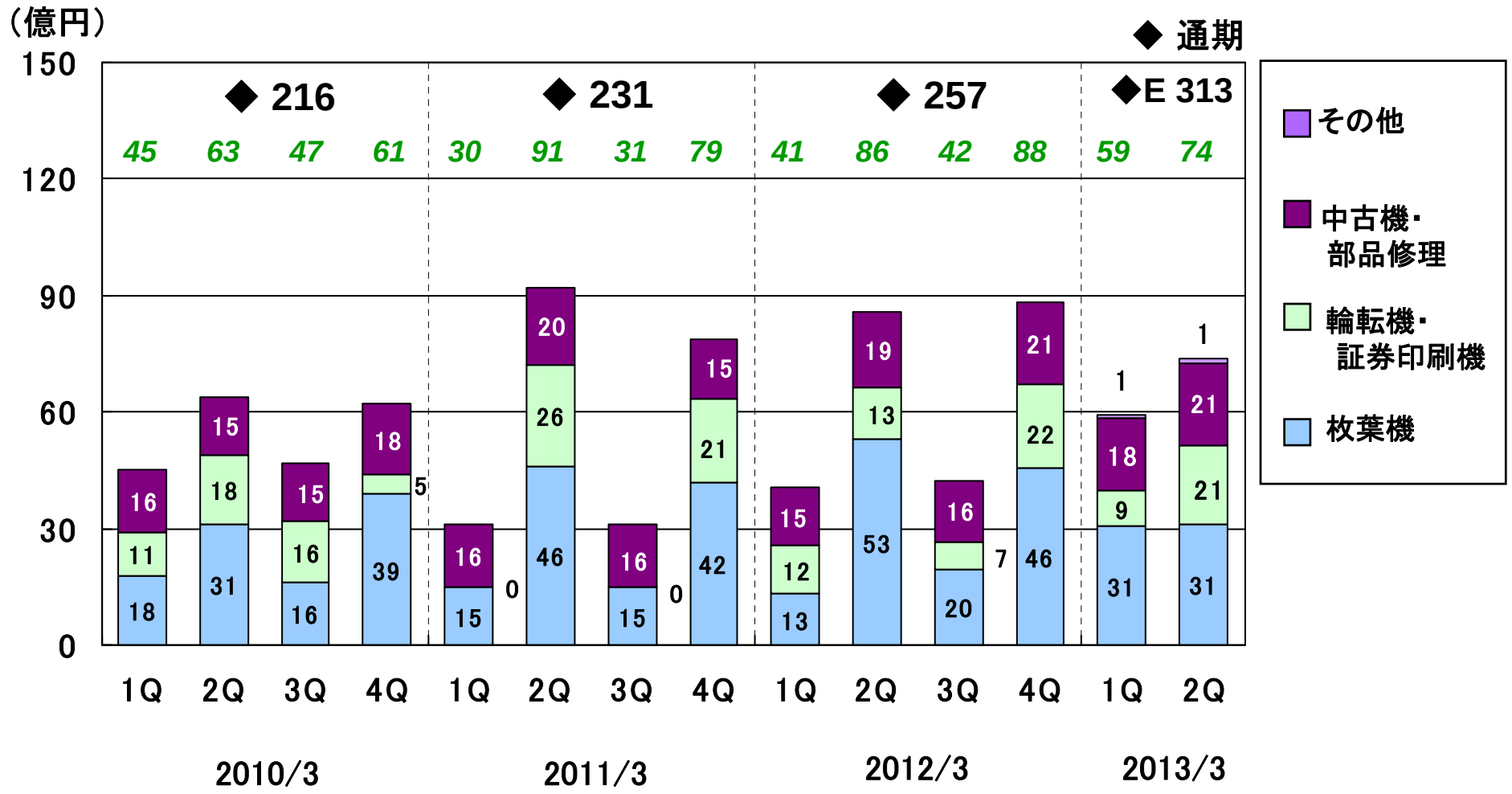
（単位：百万円）

	2009/3	2010/3	2011/3	2012/3 上期	2012/3	2013/3 上期	2013/3 予想
従業員数（名）	2,471	2,190	2,138	2,144	2,104	1,850	1,790
人件費	22,628	17,967	16,673	8,331	16,757	7,726	14,780
設備投資額	5,320	6,257	1,286	272	692	210	860
減価償却費	2,922	2,903	3,083	1,357	2,849	1,088	2,290
研究開発費	5,768	4,015	4,320	2,393	4,830	1,867	3,665
（売上高比 ）	(5.2%)	(5.8%)	(6.0%)	(7.2%)	(6.7%)	(6.3%)	(5.4%)

日本 受注高

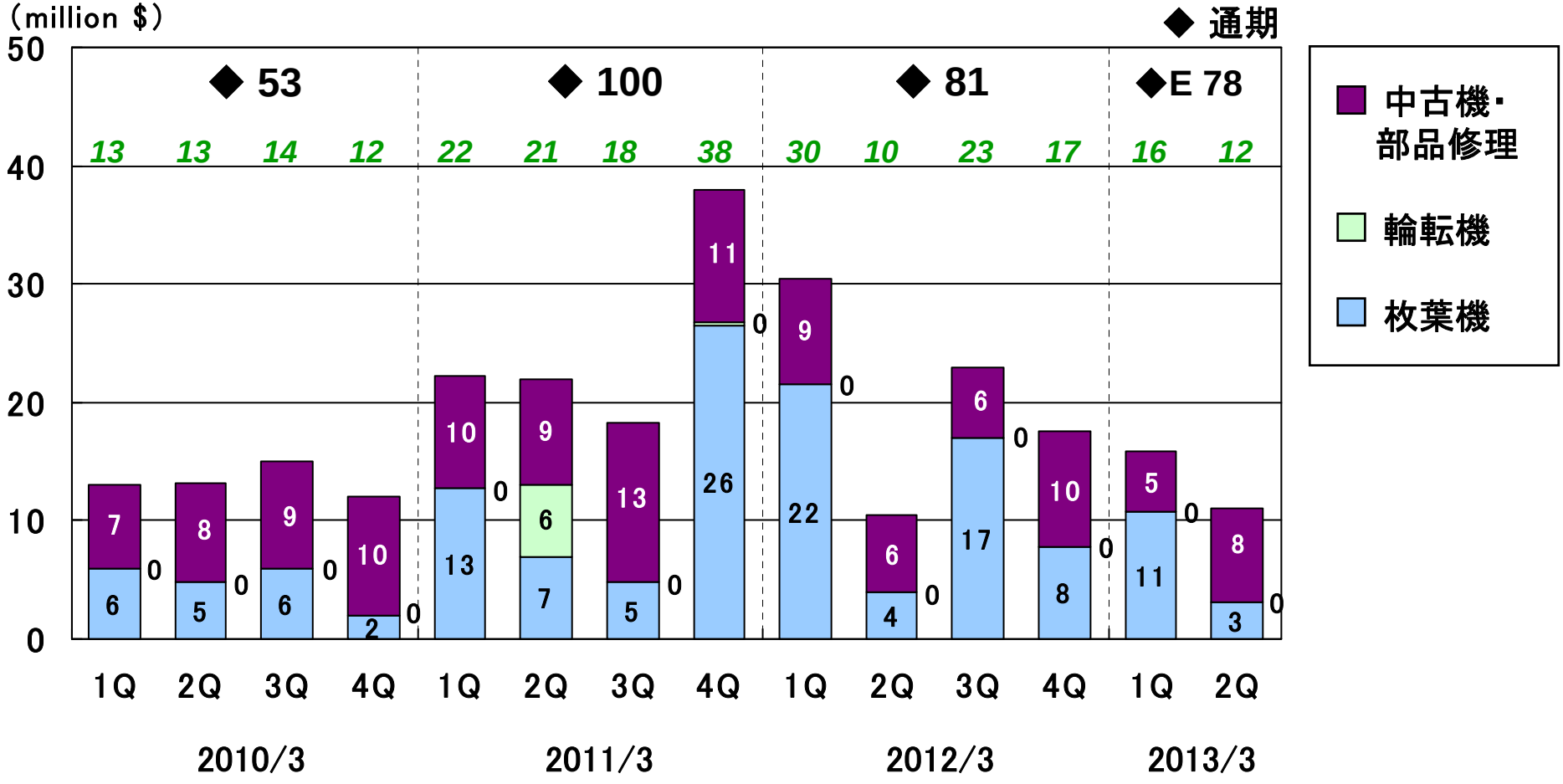

（億円）
◆ 通期
150
120
90
60
30
0
◆ 216
◆ 227
◆ 275
◆E 323
65 54 44 53 68 50 54 55 77 85 51 62 90 65
16 17 32
17 8 29
15 6 23
18 16 19
18 12 39
17 0 32
15 12 28
15 5 34
15 22 39
21 26 37
16 9 27
19 13 29
2 20 32 36
1 21 4 39
その他
中古機・部品修理
輪転機・証券印刷機
枚葉機
1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q
2010/3
2011/3
2012/3
2013/3

日本 売上高

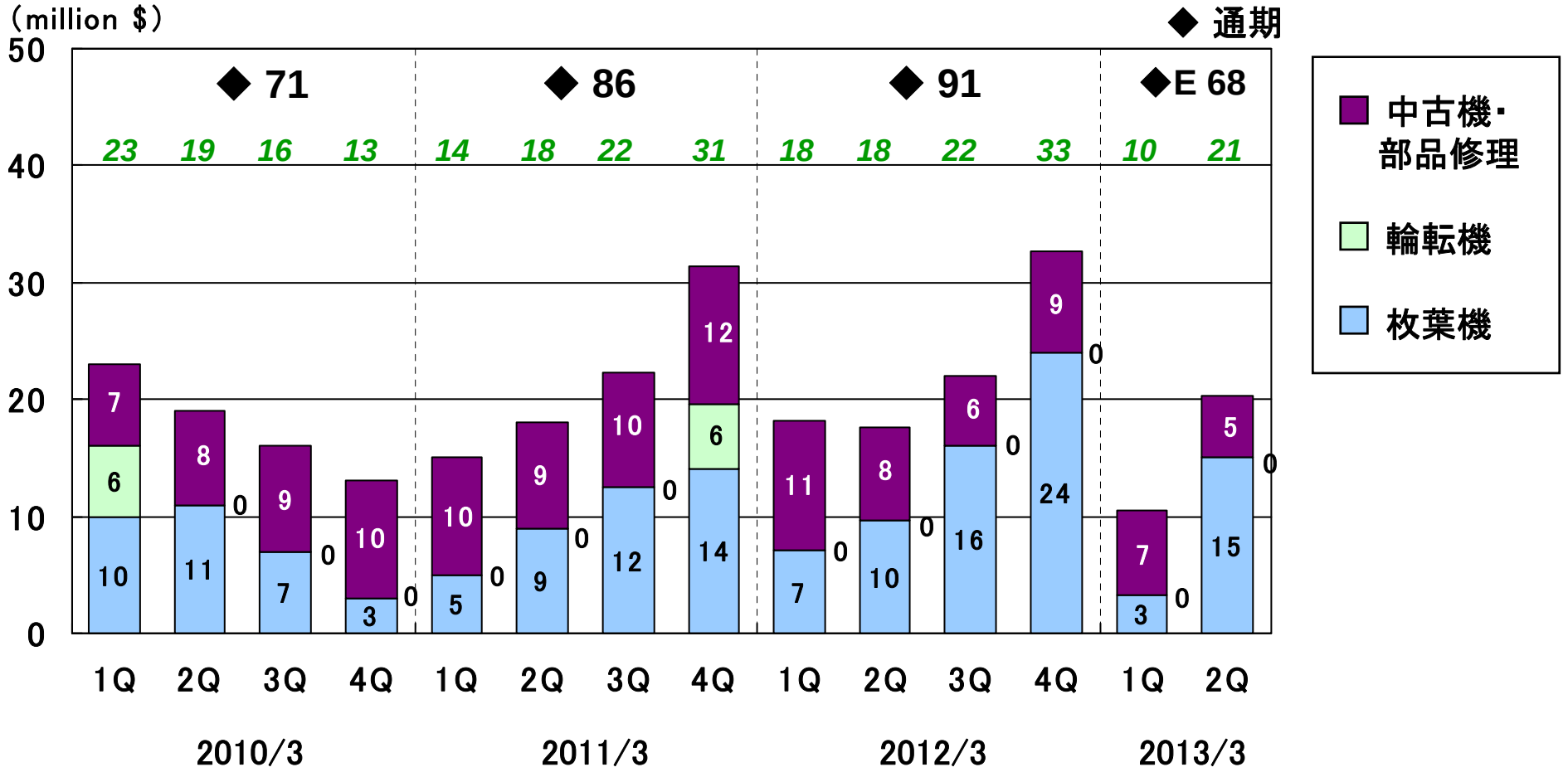


（億円）
◆ 通期
150
120
90
60
30
0
◆ 216
◆ 231
◆ 257
◆E 313
45 63 47 61 30 91 31 79 41 86 42 88 59 74
16 11 18
15 18 31
15 16 16
18 5 39
16 0 15
20 26 46
16 0 15
15 21 42
15 12 13
19 13 53
16 7 20
21 22 46
1 18 9 31
1 21 21 31
1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q
2010/3
2011/3
2012/3
2013/3
その他
中古機・部品修理
輪転機・証券印刷機
枚葉機

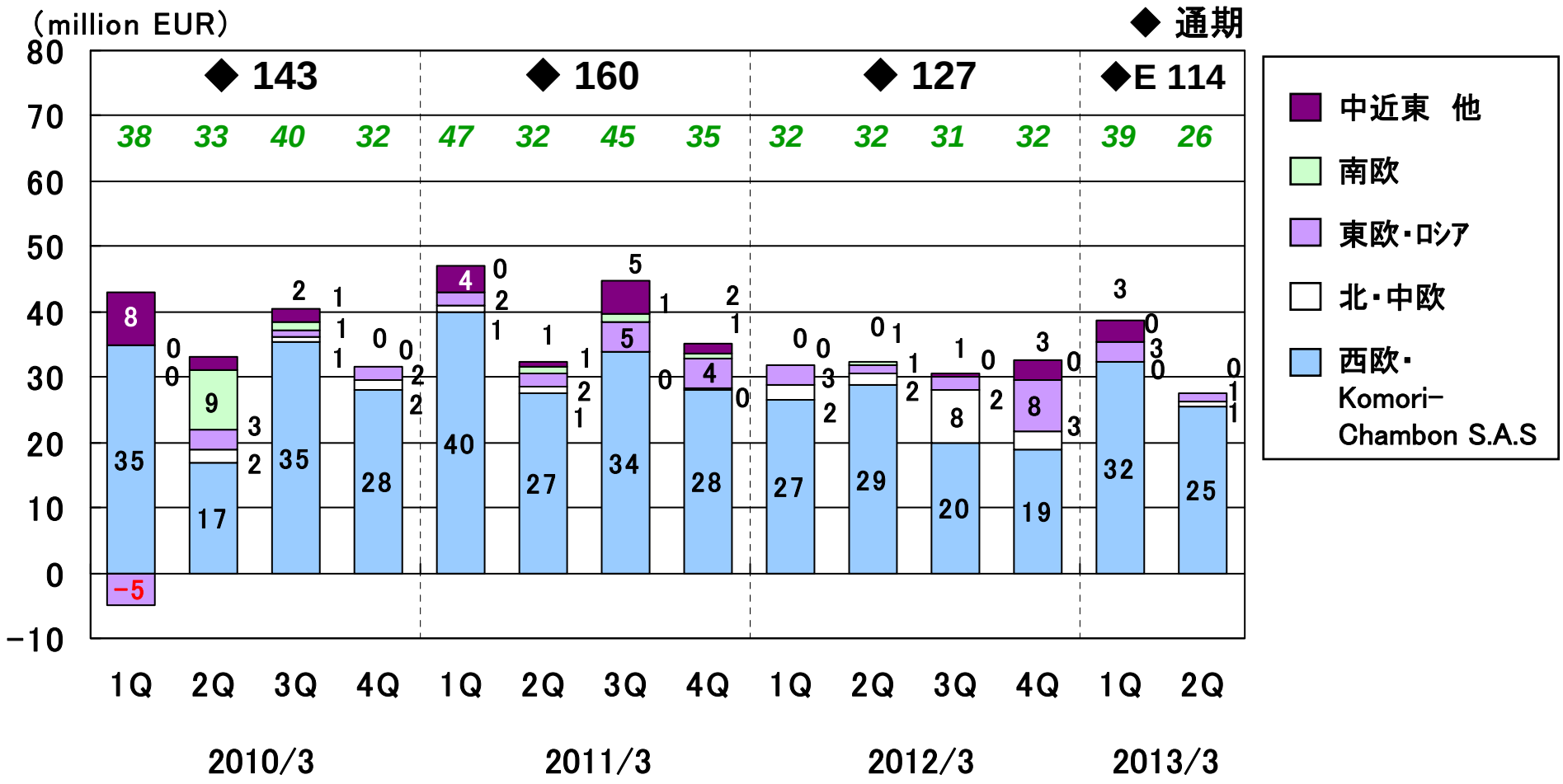
北米 受注高


(million $)
◆ 通期
◆ 53
◆ 100
◆ 81
◆E 78
13 13 14 12 22 21 18 38 30 10 23 17 16 12
50
40
30
20
10
0
7 0 6
8 0 5
9 0 6
10 0 2
10 0 13
9 6 7
13 0 5
11 0 26
9 0 22
6 0 4
6 0 17
10 0 8
5 0 11
8 0 3
1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q
2010/3
2011/3
2012/3
2013/3
中古機・部品修理
輪転機
枚葉機

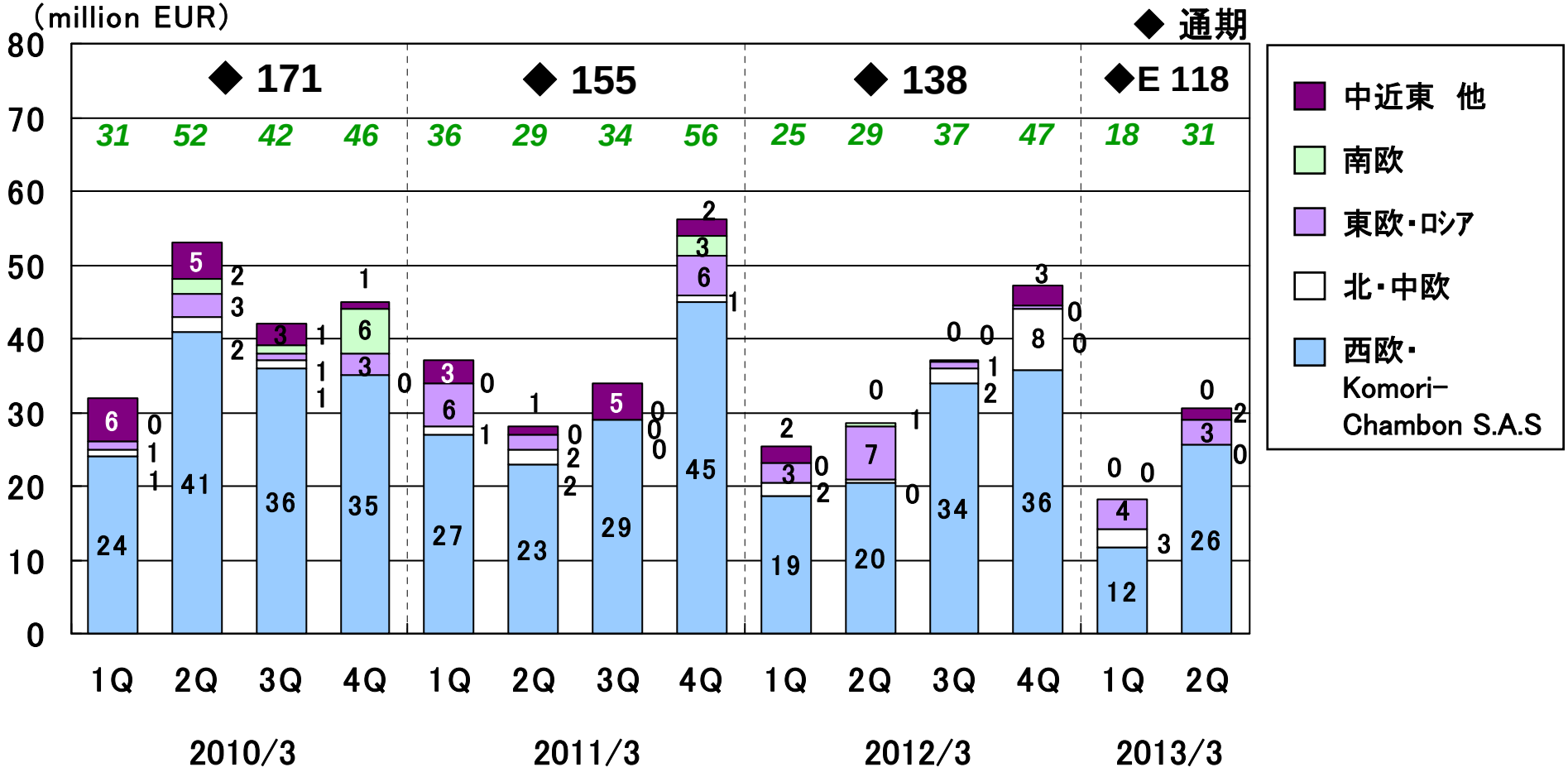
北米 売上高


(million $)
◆ 通期
50
40
30
20
10
0
◆ 71
◆ 86
◆ 91
◆E 68
23 19 16 13 14 18 22 31 18 18 22 33 10 21
7 6 10
8 0 11
9 0 7
10 0 3
10 0 5
9 0 9
10 0 12
12 6 14
11 0 7
8 0 10
6 0 16
9 24 0
7 0 3
5 15 0
1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q
2010/3
2011/3
2012/3
2013/3
中古機・部品修理
輪転機
枚葉機

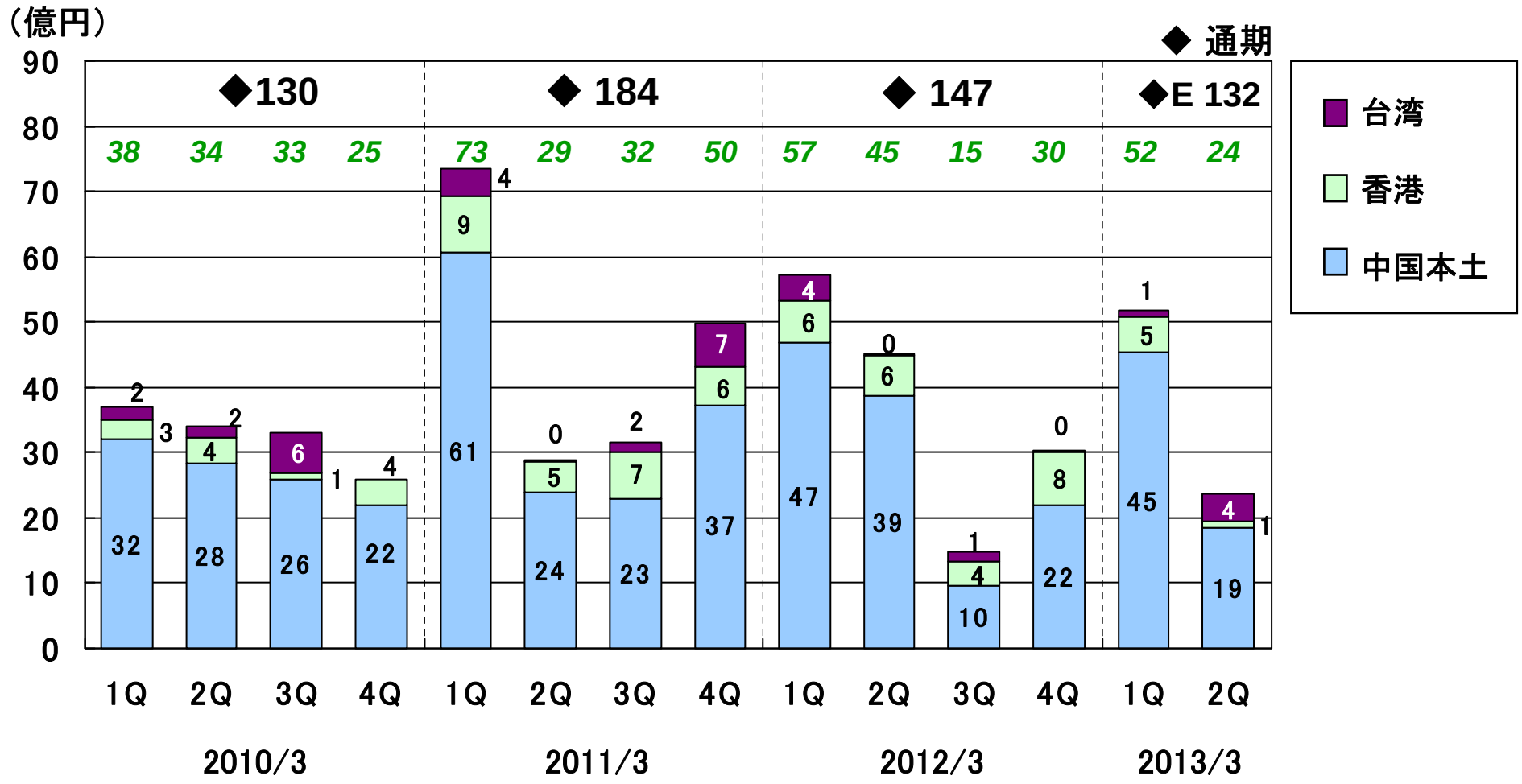
欧州 受注高


(million EUR)
◆ 通期
◆ 143
◆ 160
◆ 127
◆E 114
38 33 40 32 47 32 45 35 32 32 31 32 39 26
80 70 60 50 40 30 20 10 0 −10
1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q
2010/3
2011/3
2012/3
2013/3
中近東 他
南欧
東欧・ロシア
北・中欧
西欧・Komori−Chambon S.A.S

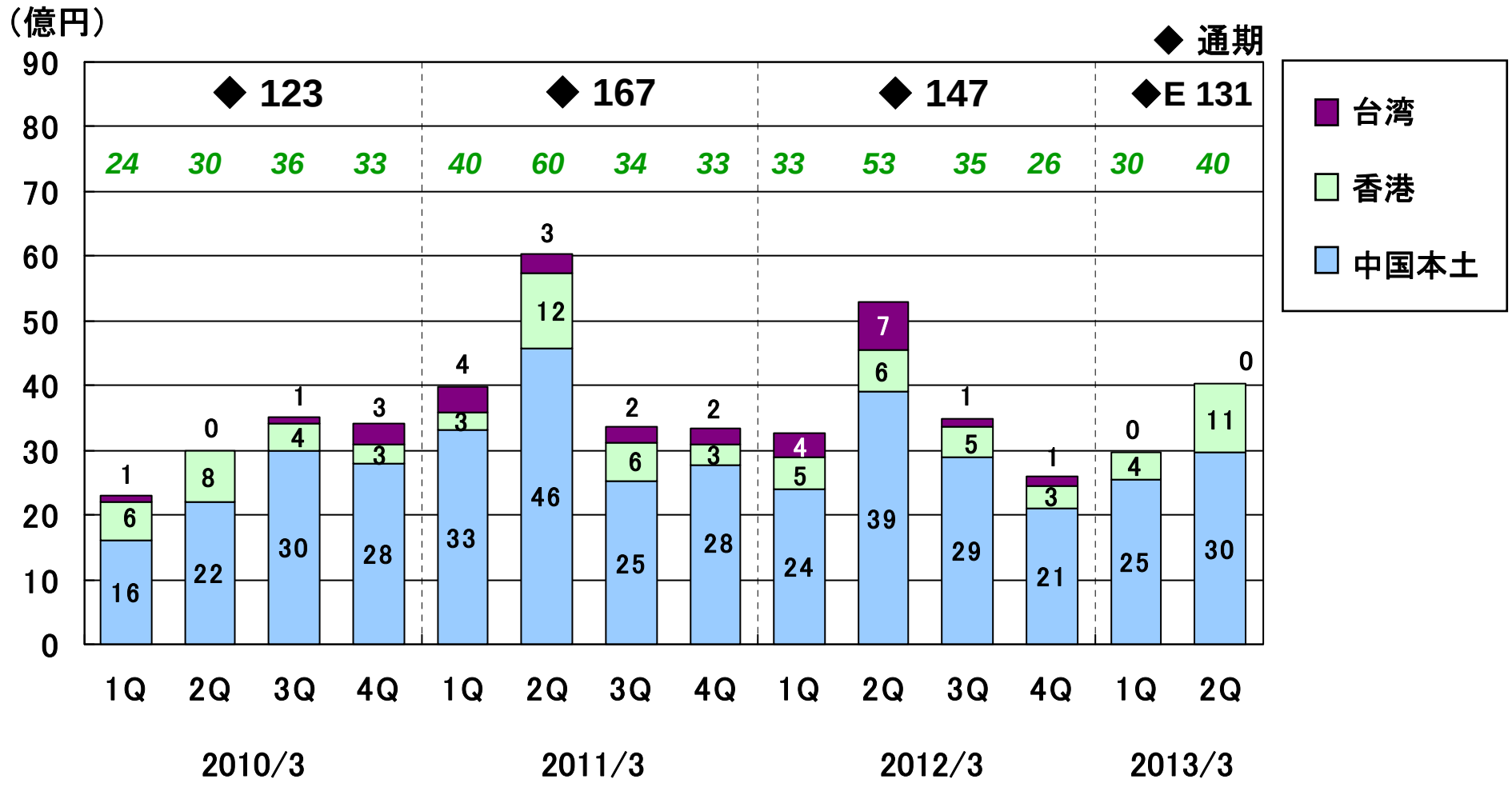
欧州 売上高


(million EUR)
◆ 通期
◆ 171
◆ 155
◆ 138
◆E 118
31 52 42 46 36 29 34 56 25 29 37 47 18 31
80
70
60
50
40
30
20
10
0
1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q
2010/3
2011/3
2012/3
2013/3
中近東 他
南欧
東欧・ロシア
北・中欧
西欧・
Komori-
Chambon S.A.S

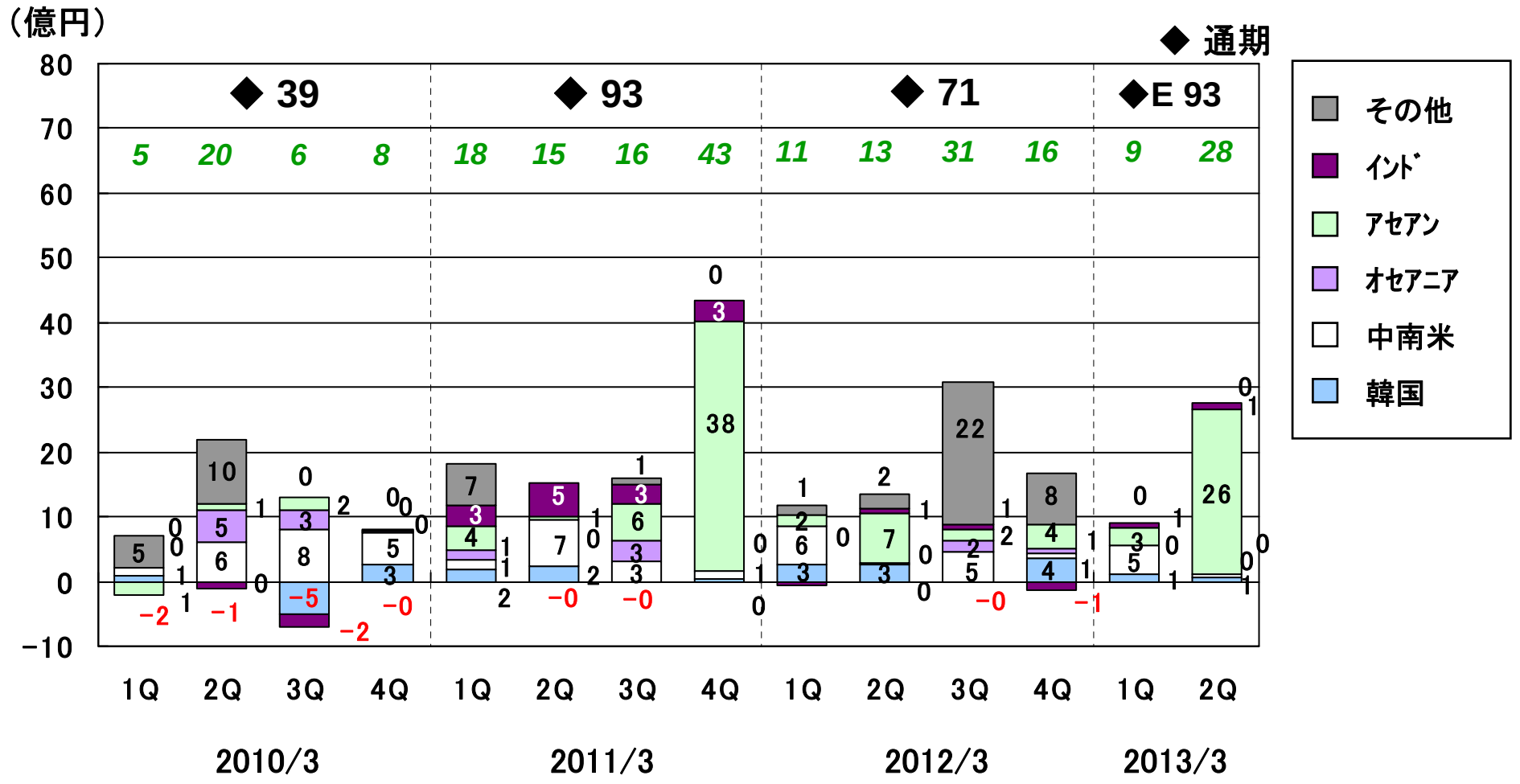
中華圏 受注高


（億円）
◆ 通期
90
80
70
60
50
40
30
20
10
0
◆130
◆ 184
◆ 147
◆E 132
38 34 33 25 73 29 32 50 57 45 15 30 52 24
台湾
香港
中国本土
2 3 32
2 4 28
6 1 26
4 22
4 9 61
0 5 24
2 7 23
7 6 37
4 6 47
0 6 39
1 4 10
0 8 22
1 5 45
4 1 19
1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q
2010/3
2011/3
2012/3
2013/3

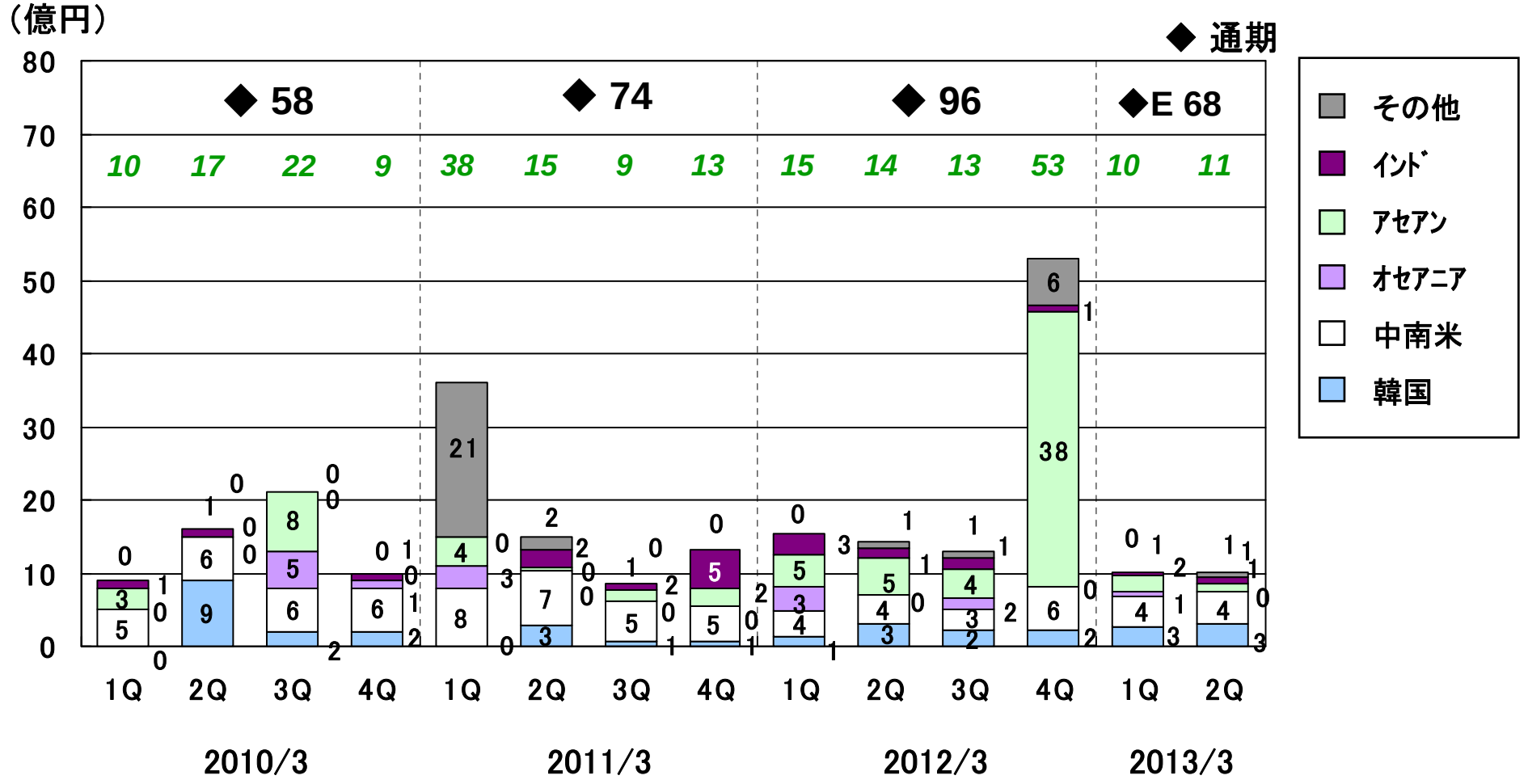
中華圏 売上高


（億円）
◆ 通期
◆ 123
◆ 167
◆ 147
◆E 131
24 30 36 33 40 60 34 33 33 53 35 26 30 40
台湾
香港
中国本土
90
80
70
60
50
40
30
20
10
0
1 0 1 3 4 2 2 4 7 1 0 0
6 8 4 3 3 6 3 5 6 5 3 4 11
16 22 30 28 33 46 25 28 24 39 29 21 25 30
1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q
2010/3
2011/3
2012/3
2013/3

その他地域 受注高


（億円）
◆ 通期
◆ 39
◆ 93
◆ 71
◆E 93
5 20 6 8 18 15 16 43 11 13 31 16 9 28
80
70
60
50
40
30
20
10
0
−10
その他
ｲﾝﾄﾞ
ｱｾｱﾝ
ｵｾｱﾆｱ
中南米
韓国
1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q
2010/3
2011/3
2012/3
2013/3

その他地域 売上高


（億円）
◆ 通期
80
70
60
50
40
30
20
10
0
◆ 58
◆ 74
◆ 96
◆E 68
10 17 22 9 38 15 9 13 15 14 13 53 10 11
1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q
2010/3
2011/3
2012/3
2013/3
その他
ｲﾝﾄﾞ
ｱｾｱﾝ
ｵｾｱﾆｱ
中南米
韓国

市場動向

◆日本

・企業の広告宣伝費の抑制のなかにあって、印刷需要の回復に力強さはなく、
日本市場全体の印刷機械の出荷台数は伸び悩んでいる

・オフセット輪転機の設備過剰感が弱まりつつあり、
積極的に設備の更新をする印刷会社も出てきた

・当社の新乾燥装置H-UVは、印刷会社が持つ課題（品質、納期等）を解決し、
多くの日本の印刷会社に納入。
複数台納入の印刷会社も出てきている

市場動向

◆北米

・景気回復のペース鈍く、戻りかけてきた更新需要が買い控え傾向に。
　オンライン広告の伸び、紙媒体広告の減少への不安もあり、設備投資に慎重

・先進的な印刷会社は生き残りをかけH-UVを導入し、
　その特性（速乾性、品質の安定、短納期）活かし差別化を追求している

◆欧州

・欧州債務危機のなか、drupa2012効果により上期受注は堅調。
　しかしながら、ファイナンス環境は厳しく、成約に時間を要している

・drupa2012ではH-UVの評判は非常に高く、今後欧州で大きな伸びを
　期待させる展示会となった

市場動向

◆中華圏

・景気の減速感に政治問題が絡み、需要の先行きに力強さを欠く

内需型印刷会社

・経済の減速傾向はあるものの、印刷の仕事は多く設備投資は堅調

・ 新機種LA37が中国の紙サイズにマッチし販売好調

外需型印刷会社

・最大の貿易相手である欧州の景気低迷により、設備投資には後ろ向き



※ 当資料に含まれている業績予想等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

※ 当資料では、表示未満単位を四捨五入して表示しており、内訳と合計が一致しない場合があります。

事業構造変革による収益拡大指針
～黒字定着化に向けて

平成24年10月30日

株式会社小森コーポレーション

Copyright © 2008 Corporation. All Rights reserved.

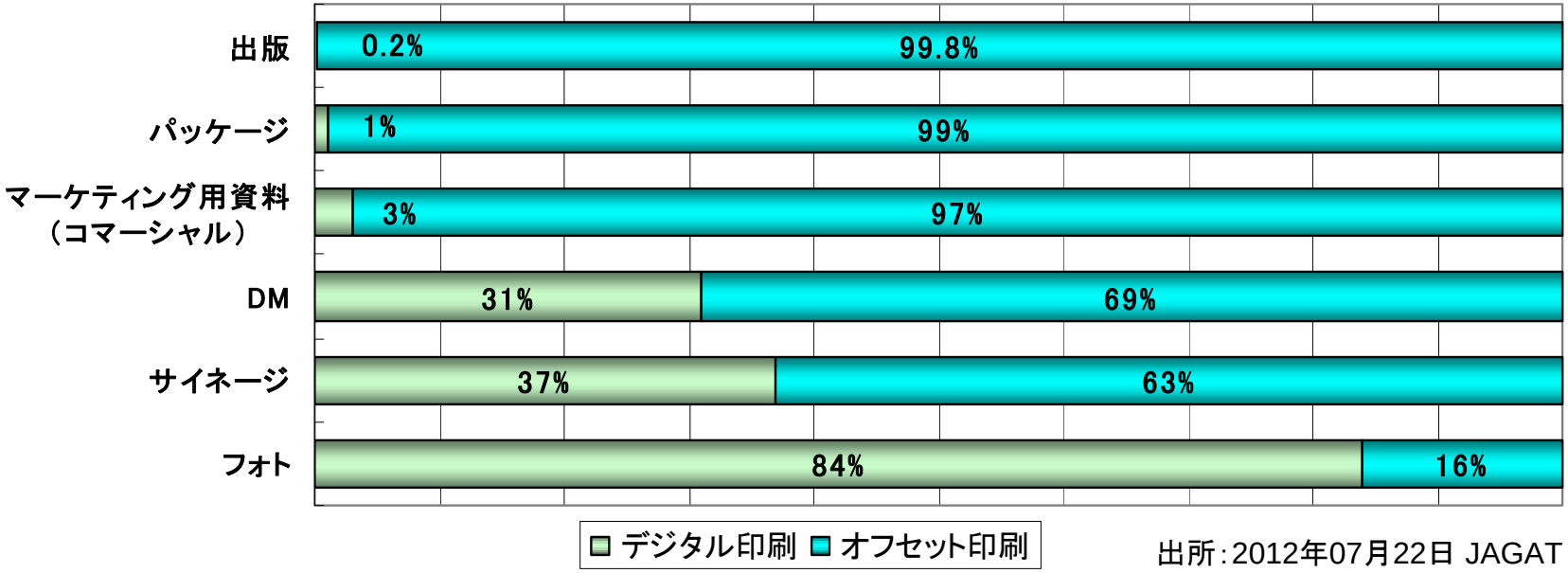
要旨

- オフセット印刷は、生産性・コストから見て、デジタル印刷に比べて圧倒的に有利な印刷技術。今後も主要な印刷物生産手段であり続ける。
- 一方、デジタル印刷技術は、「小ロット対応」、「バリアブル印刷」というオフセットにはないメリットがある。
- 印刷会社の真のニーズは、双方のメリットを組み合わせた「最適な生産手段」を構築すること。小森は、双方の技術をもち、組み合わせを可能にする技術をもつ、ユニークな存在＝ソリューション・プロバイダー。
- HUV、PESPの推進により、既存事業の競争優位、収益性向上させる。
- 証券印刷事業は、アジア地区を中心に着実に成果を上げつつある。
- デジタル印刷機事業も、drupa技術展示の評価と来年の量産化を目指して、プロの印刷会社の要求に的確にこたえられる。
- 印刷機製造技術をPE(Printed Electronics)に展開。ICT革命で拡大する市場においても事業領域を拡大する。タッチパネル額縁配線が当初の目標市場である。

アプリケーション別 オフセット印刷 / デジタル印刷比率（全世界）

2011年に世界で印刷されたのはA4 50兆 ページ
⇒うち デジタル印刷は1兆ページ（2%）

出所：2012年 drupa LANDA 資料より

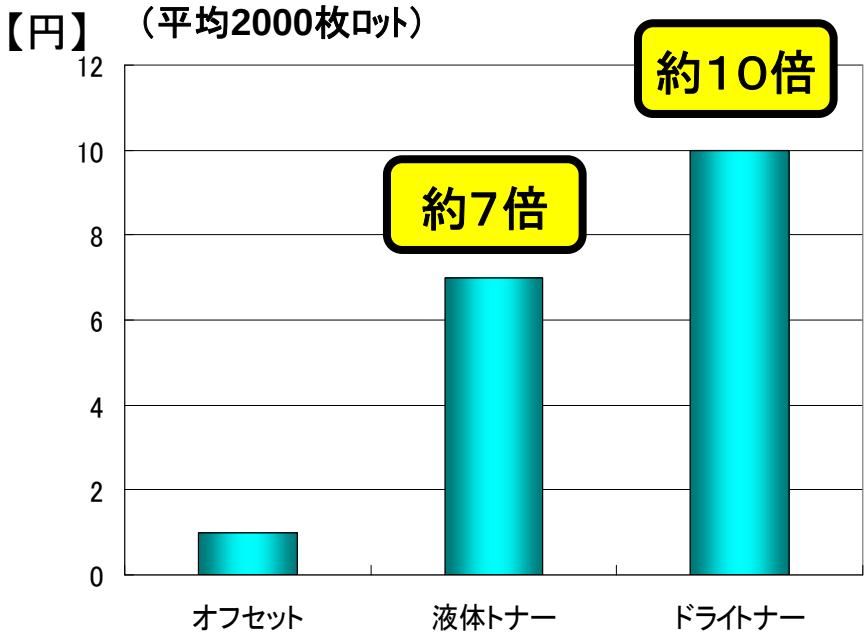


出所：2012年07月22日 JAGAT

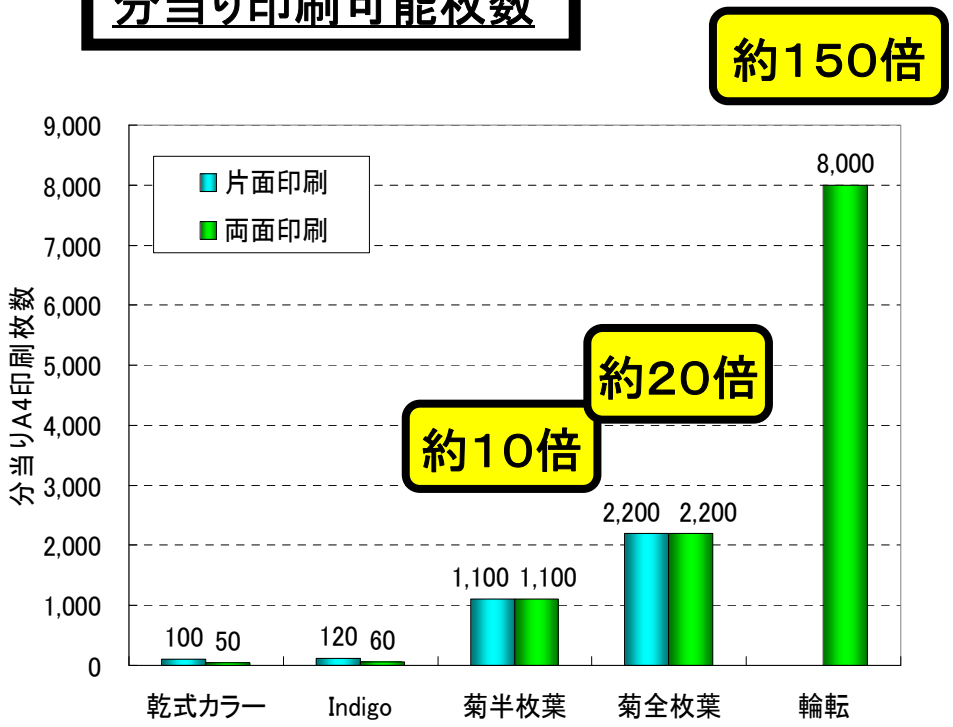
デジタルが主に使用されているのは限られた分野の限られた割合のみ
多くの印刷物はオフセットが主流

デジタル印刷機 / オフセット印刷機　コストと生産性の比較

A3 1枚印刷に掛かるコスト



分当り印刷可能枚数



デジタルとオフセットを比較した場合、オフセット印刷は

⇒単位面積当り印刷コストは デジタル印刷の1/7～1/10

⇒生産性（分当たり印刷可能枚数）は デジタル印刷の10倍以上 ※当社推計

PODと当社デジタル印刷機械の相違点

	トナー電子写真方式（POD）		Impremia IS29（当社デジタル印刷機）
最大用紙	A3	<<	B2　A4,A3からポスターまで対応力を拡大
印刷速度	A4 片面 100 ppm	<<	A4 片面換算 220 ppm
印刷品質		<<	オフセットにより近い 重厚
紙厚	0.3mm程度まで	<<	0.6mmまで可能 パッケージまで展開拡大
信頼性	ベースはトナー機	<<	ベースはオフセット機





小森の優位性－オフセット/デジタルのソリューションプロバイダー

デジタル印刷機　vs オフセット印刷機（枚葉）

生産性	1	:	10－20
コスト	7－10	:	1

生産性・コストからみて、印刷会社の全ジョブをデジタル印刷機で行うことは合理的ではない。
大半の印刷会社のジョブはオフセット印刷機で生産した方が効率的

一方、デジタルは小ロット対応、バリアブル印刷というオフセットにはないメリットがある。

↓

印刷会社の真のニーズ＝**オフセットとデジタル双方の長所を生かした「最適な生産システム」**

↓

小森＝オフセットとデジタル双方をもっているユニークな存在

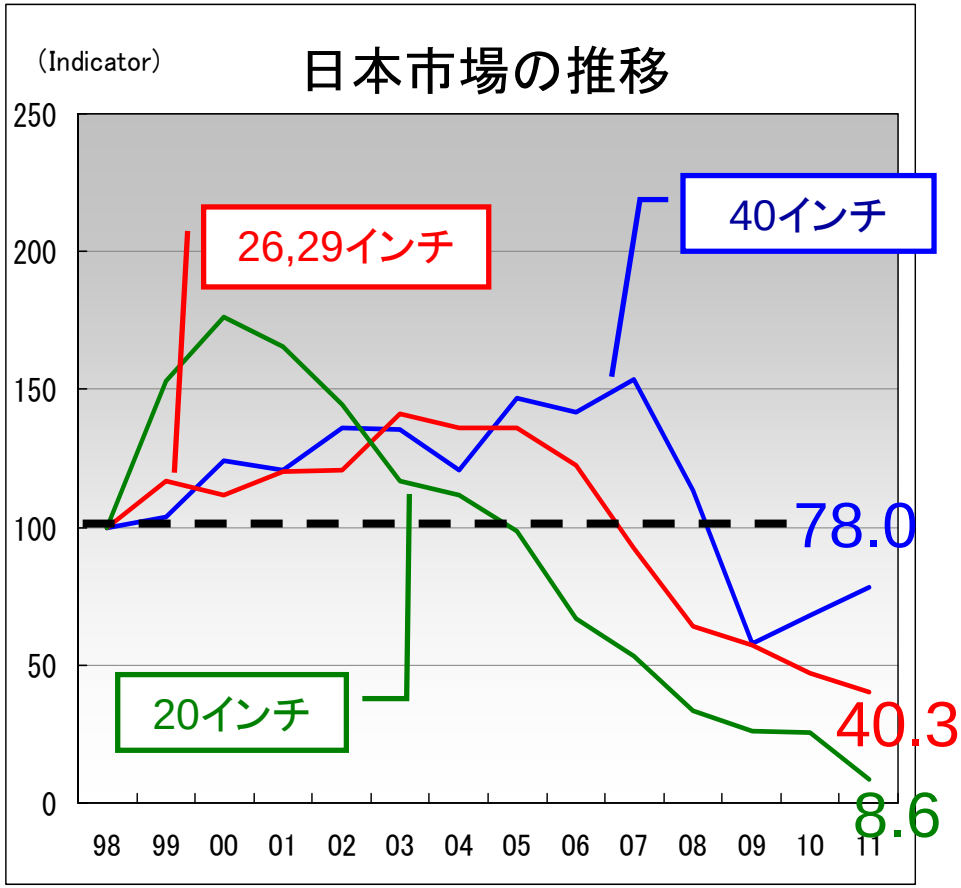
↑

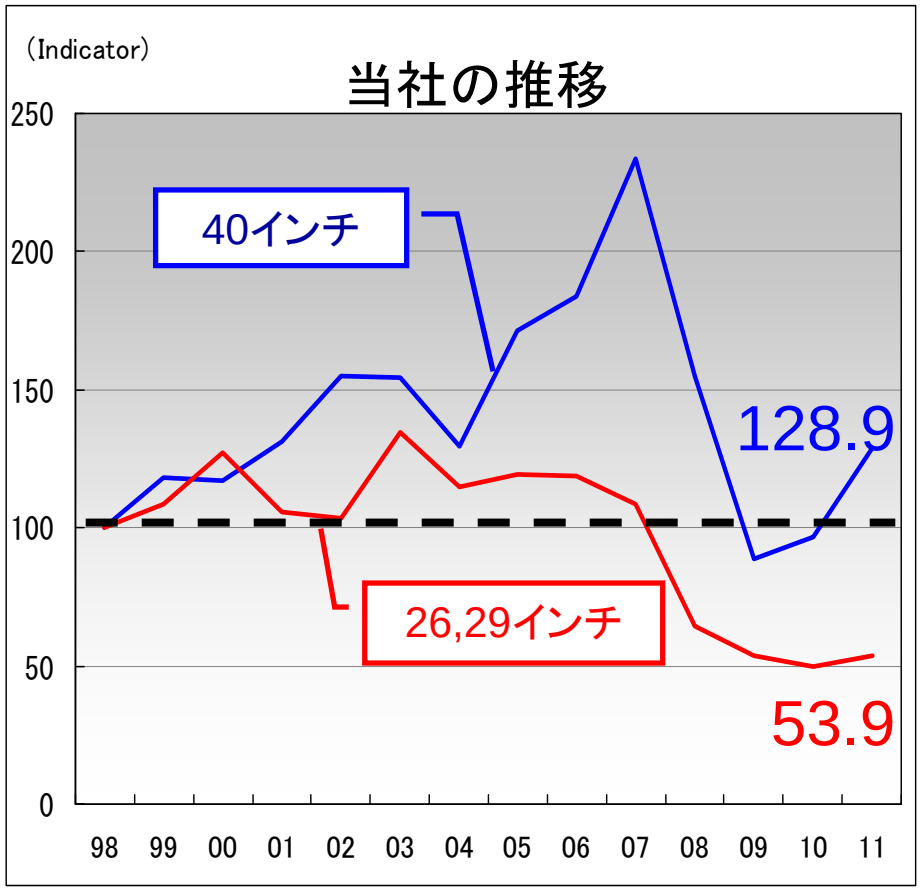
オフセットとデジタルの組み合わせる（ソリューション）場合の重要なキーポイント

HUV：　速乾性・パウダーレス⇒オフセットで印刷後、バリアブル部分をデジタルで印刷する際、印刷障害が出ない
K-Color Simulator：　オフセット、デジタルの色合わせが簡単にできる⇒両印刷方法での組み合わせが可能

HUV、K-Color Simulator：　小森の独自技術（ノウハウ）

日本市場のオフセット機械納入ユニット数 / 当社の納入ユニット数推移





1998年を100とした場合の推移

※当社推計

日本市場での販売戦略

① H-UVを核とした『OffsetOnDemand』ソリューションの展開

➤「究極の小ロット・短納期対応」のユーザーニーズは今後も顕在化

➤このユーザーニーズに応えるH－UV搭載機による「**OffsetOnDemand**機」は、今後も販売増が期待できる

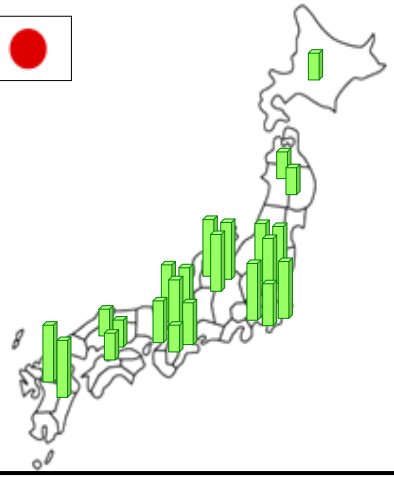
② PESP（Print Engineering Service Provider）事業の推進

➤様々なユーザーニーズに応えるべく、オフセット印刷機にとどまらず、諸工程の最適なシステム/商品、関連諸資材　等を提案

➤**PESP**事業推進部を発足し、**POD**・プリプレス・ポストプレス・各種印刷資材等多岐にわたる**PESP**取り扱い商品を強力に開発・販売推進していく

H-UV 搭載機 世界受注現況

日本



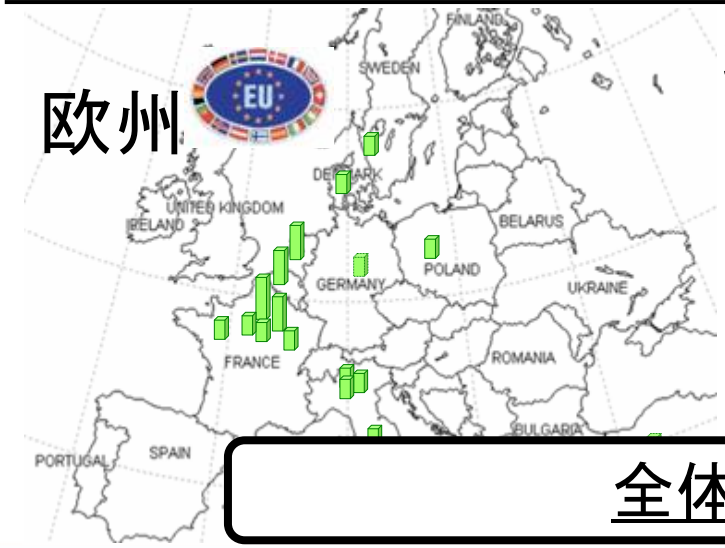
155 台

米国



20 台

欧州



30 台

15 台

その他の国



全体受注累計：220台

2012.10現在

中国市場での販売戦略

① 内陸部への拡販強化(鄭州、西安、長沙、武漢、成都、重慶)

➤引き続き成長率高く、中古機、国産機ユーザーのステップアップが期待出来る

➤コア商品であるGL40、E29、LS29が引き続き投資の対象となる

② 新製品LA-37の市場投入による競合ユーザー攻略

➤中国の商業印刷でのメインサイズ888mmを印刷出来る機種であり、刷版等の資材代、電気代を節約できる実用的な製品

➤競合メーカーの低価格製品に対抗できる価格設定

③ 厚紙向けUV機、コーター機の拡販

➤商業、書籍印刷への将来性懸念から厚紙印刷の取組を図る傾向強い

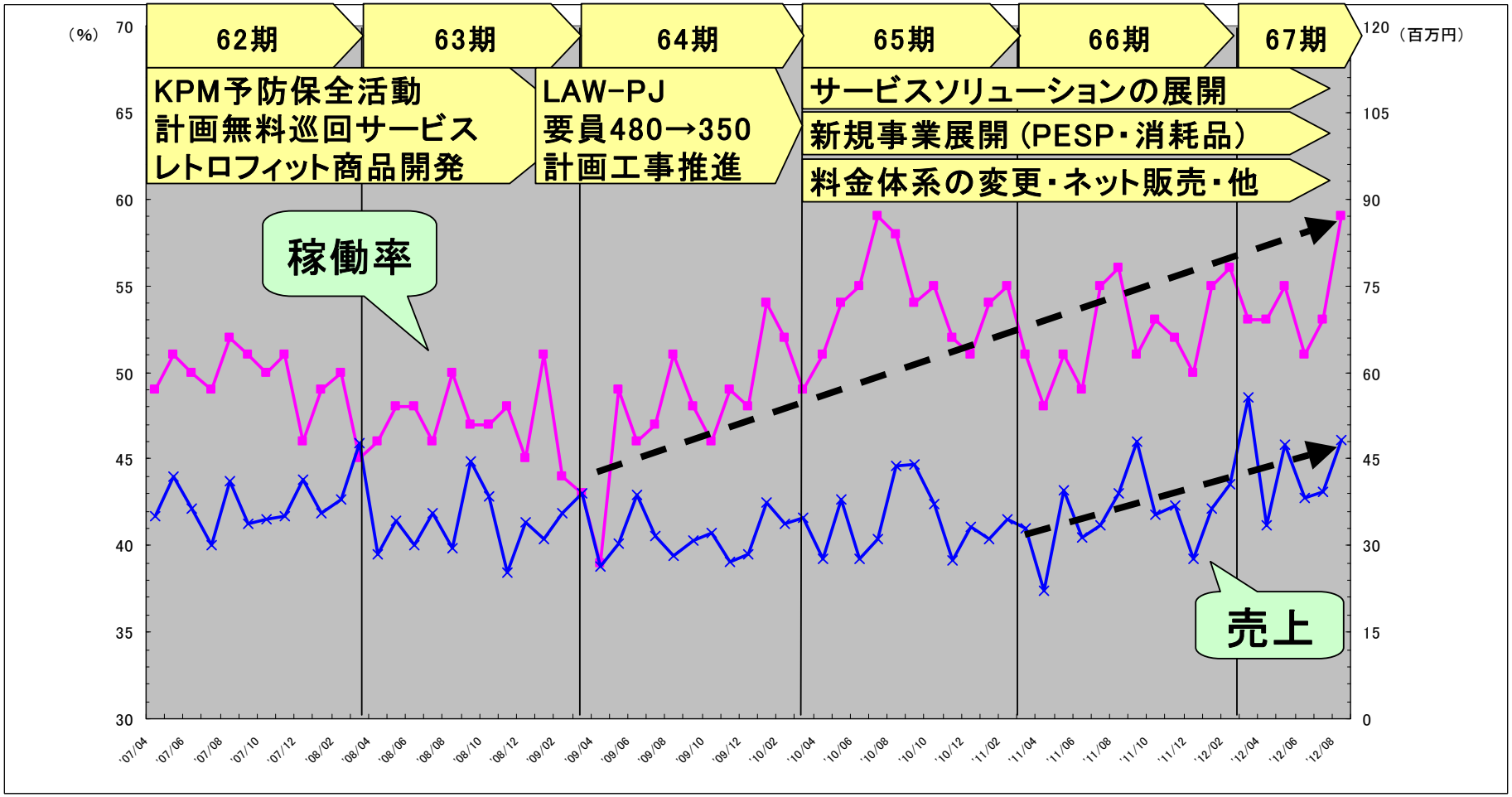
➤差別化のためのUV印刷導入ニーズ（技術サポートを含めた対応を実施）

④ Web to Print (合版印刷=ギャングラン) からの受注確保

➤急成長を遂げる会社が多く、投資意欲が非常に活発

➤Web to Printでは ”どれだけ台数をこなせるか” が鍵を握るが、この点では当社は他社機を上回る実力を持っている

サービス事業　― 近年の各種取組による稼働率の向上 ―



証券印刷機事業　― 近年の海外受注実績 ―

2010年5月	南アフリカ	両面オフセット印刷機
2011年2月	フィリピン	1ライン受注（第1ライン）
2011年9月	インドネシア	番号印刷機
	中国	両面オフセット印刷機
2011年11月	米国（BEP）	証券用オフセット印刷機
2011年12月	英国（DLR）	1ライン受注

2012年6月	中国	両面オフセット印刷機x2
	タイ	番号印刷機
2012年9月	フィリピン	1ライン受注（第2ライン）
	ドイツ（G&D）	両面コーター印刷機

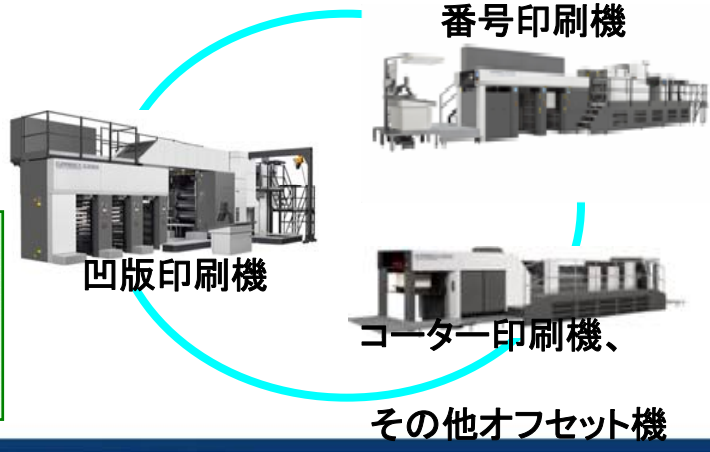
➤英国 デ・ラ・ルー社から紙幣印刷設備1ラインを受注、現在納入中

◆包括技術協力契約を含む

・品質向上、生産性向上、コストダウンの協力

・セキュリティ印刷技術の共同開発

【デ・ラ・ルー社とは】
英国にある世界最大の民間の証券印刷会社。
世界150ヶ国以上の紙幣の印刷およびデザインに関わっている。



証券印刷機事業　－ 更なる収益拡大への取組 －

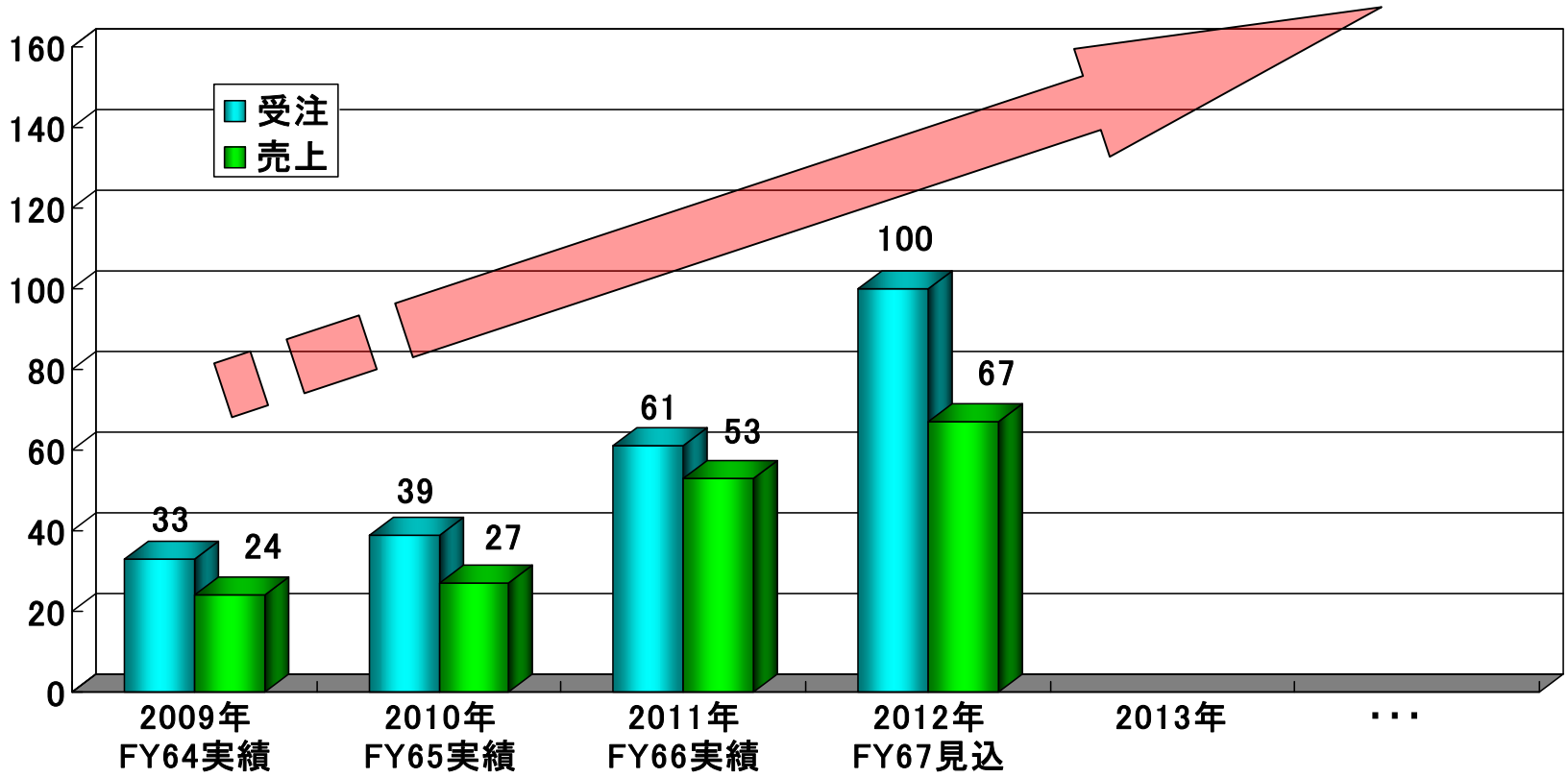
① アライアンス強化による付帯装置販売の拡大
➤各種付帯装置、検査装置等、証券印刷に欠かせない装置等の提案

② 機械/装置販売以外の販売拡大（PESP事業の推進）
➤PMサービス、OH及びサービス商品、資材、消耗品の販売等を推進

③ 次世代紙幣印刷システム（モジュール機/H-UV技術、等）の商品化

④ SECURITY技術の商品化
➤アライアンス企業と共に、SECURITY技術開発を用いた商品開発関与
➤小森独自のSECURITY技術開発と、競合との差別化

証券印刷機事業　― 近年の受注･売上推移と見込み ―



FY67に受注100億の見込。更なる収益拡大を目指す。

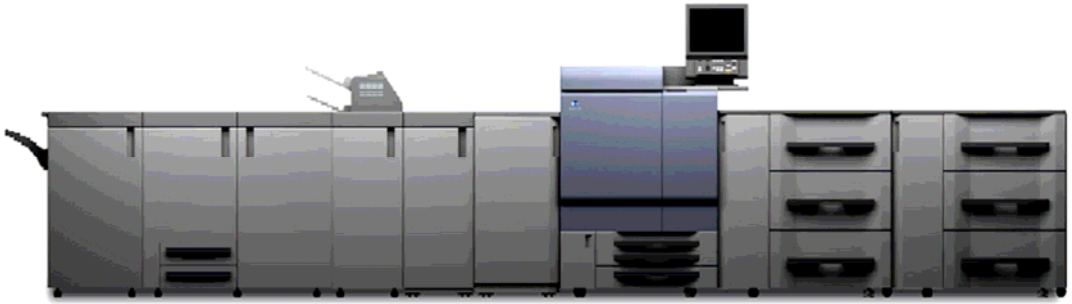
※この予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、 実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

デジタル印刷機事業の現況　― POD納入実績 ―

Konica Minolta様からのOEM商品展開（今期実績）

- 日本:　　4～9月　納入実績　19台
- アメリカ:　4～9月　納入実績　11台
- 欧州（英・蘭・仏・伊）と中国は9月から販売開始

Impremia C80



デジタル印刷機事業　－「小森の固有技術」と「デジタル技術」の融合－

KOMORI Kando:Beyond Expectations ＋ KONICA MINOLTA ＝ Impremia IS29

Komori Key Technologies

SHEET



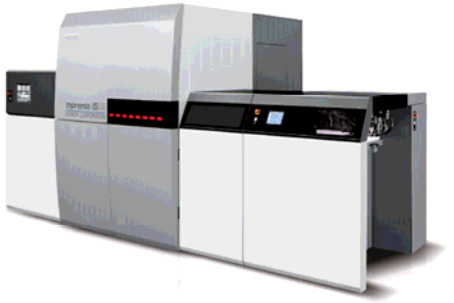
WEB



- ➤高い信頼性
- ➤安定性（画質、給排紙）
- ➤高い印刷品質
- ➤システムオートメーション
- ➤オフセットオンデマンド技術
  （H-UV、20Matching）
- ➤ショートラン技術
  （KHS-AI、F-APC）
- ➤カラーマネジメント技術
  （K-ColorSimulator）

インクジェット デジタル技術





Impremia IS29

枚葉インクジェット印刷機

コンセプト

- ➤専用紙不要
- ➤プリコート不要
- ➤オフセット品質
- ➤高信頼性

デジタル印刷機事業　ーデジタル製品のロードマップー

K- Color Simulatorの拡大（2012.10月.～）

Impremia 商品群のラインアップ

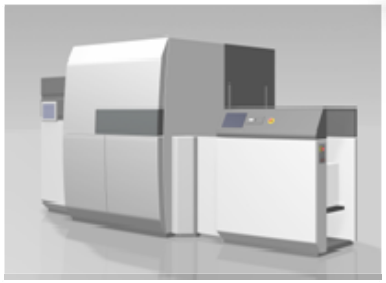


Impremia C80
（Entry Model）

Drupa 2012. 5月 ～

KKC
KAC
KIE
KHK,KSZ

Impremia IS29



2013. 9月 Print　受注開始

10月 JGAS 受注開始

2014. 4月 米、日 市場で納入開始



Impremia K&L-Web

2014. IPEX 受注開始

Impremia K&L-Sheet



目標

120億円
（FY2015）

Toner Technology

UV-direct IJ Technology

Nanography IJ Technology

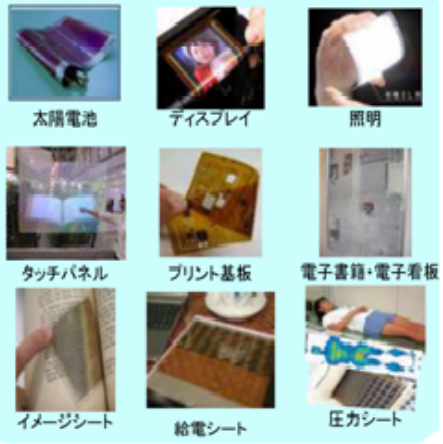
※目標数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

PE / 精密機器事業　― PE業界の事業規模 ―

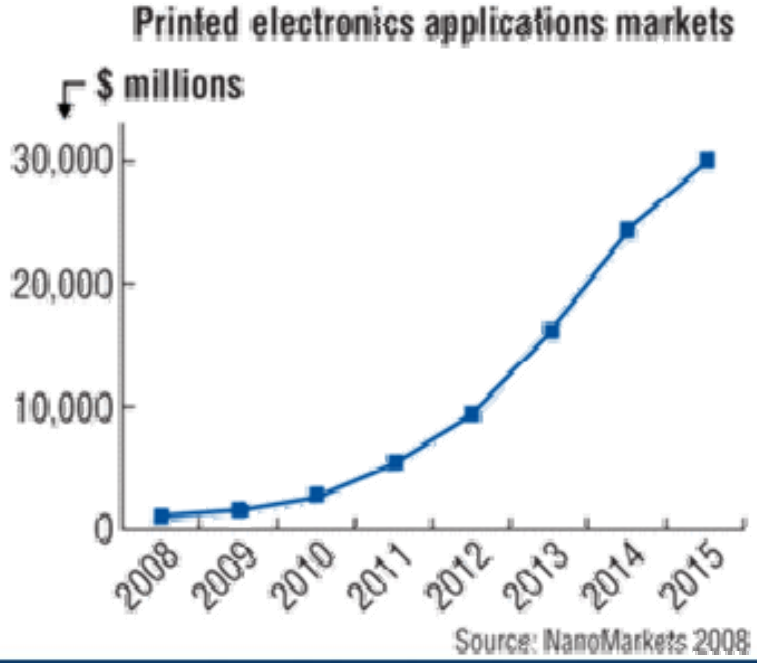
PE（プリンテッドエレクトロニクス）とは

材料技術・印刷技術・製造プロセス技術を用いて、
薄型・軽量・柔軟・耐衝撃性・大面積などの特長を生かしたフレキシブル
デバイスを大面積・省エネ・省資源・高生産性・低コストで製造する技術

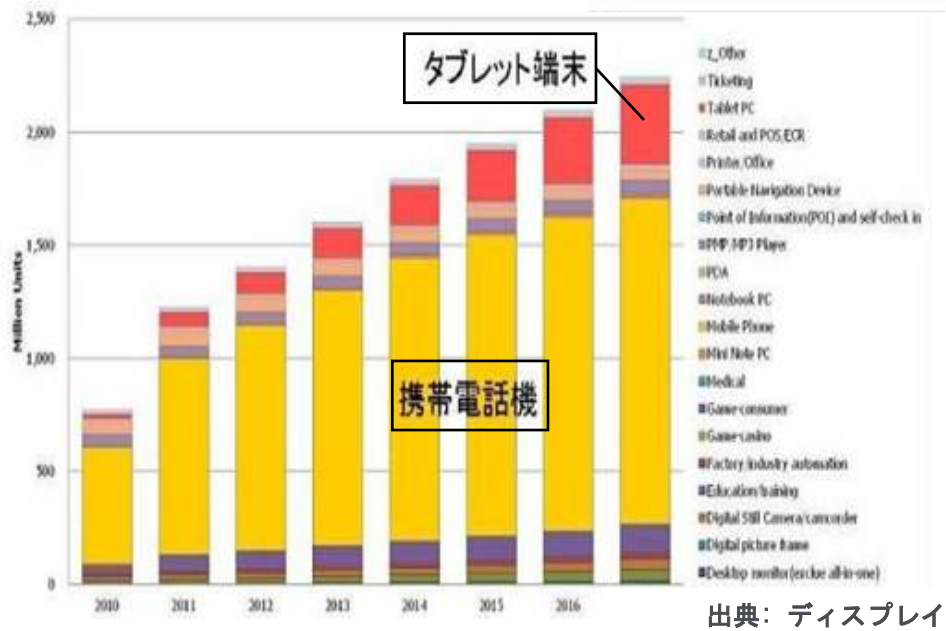
期待されるｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ



ＰＥ世界市場予測



伸び行くタッチパネル市場予測



出典：ディスプレイサーチ

PE / 精密機器事業　― PEPIOの第一の対象市場 ―

マルチタッチパネル額縁配線印刷

市場ニーズに応える新たな印刷手法

細線精度

100μm

50μm

1μm

50～100μm
Screen

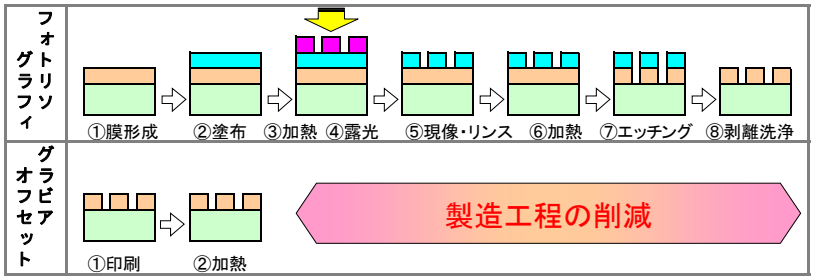
20～50μm
Gravure
Offset

8～50μm
Photo Litho

狭額縁配線の要求
（高細線化）

グラビア・オフセット
印刷機を独自開発

- 証券印刷向け凹版・グラビア印刷の高精度な印刷技術
- 商業印刷向けオフセット印刷の高品質・高度に自動化された高性能な印刷技術



低額設備投資、高生産性の要求

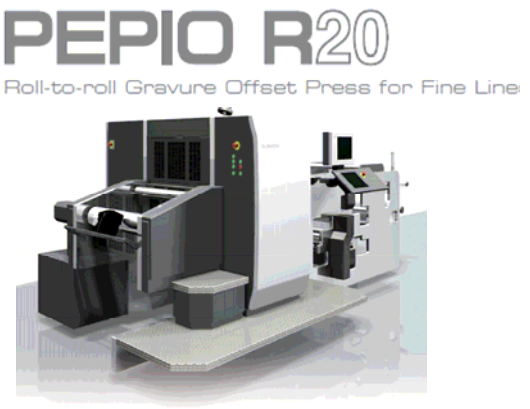
設備投資金額

10m￥　100m￥　500m￥

PE / 精密機器事業　― PEPIOの差別化技術とロードマップ―



2012年9月より受注開始
2013年3月以降 量産出荷予定



2012年9月より受注開始
2013年9月以降 量産出荷予定

小森独自のテクノロジー

高生産性　と　環境負荷低減

環境負荷低減

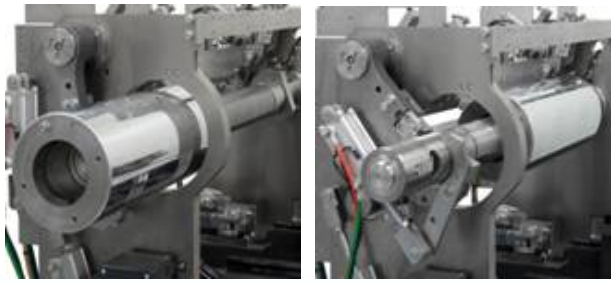
コモリロングランサポートシステム



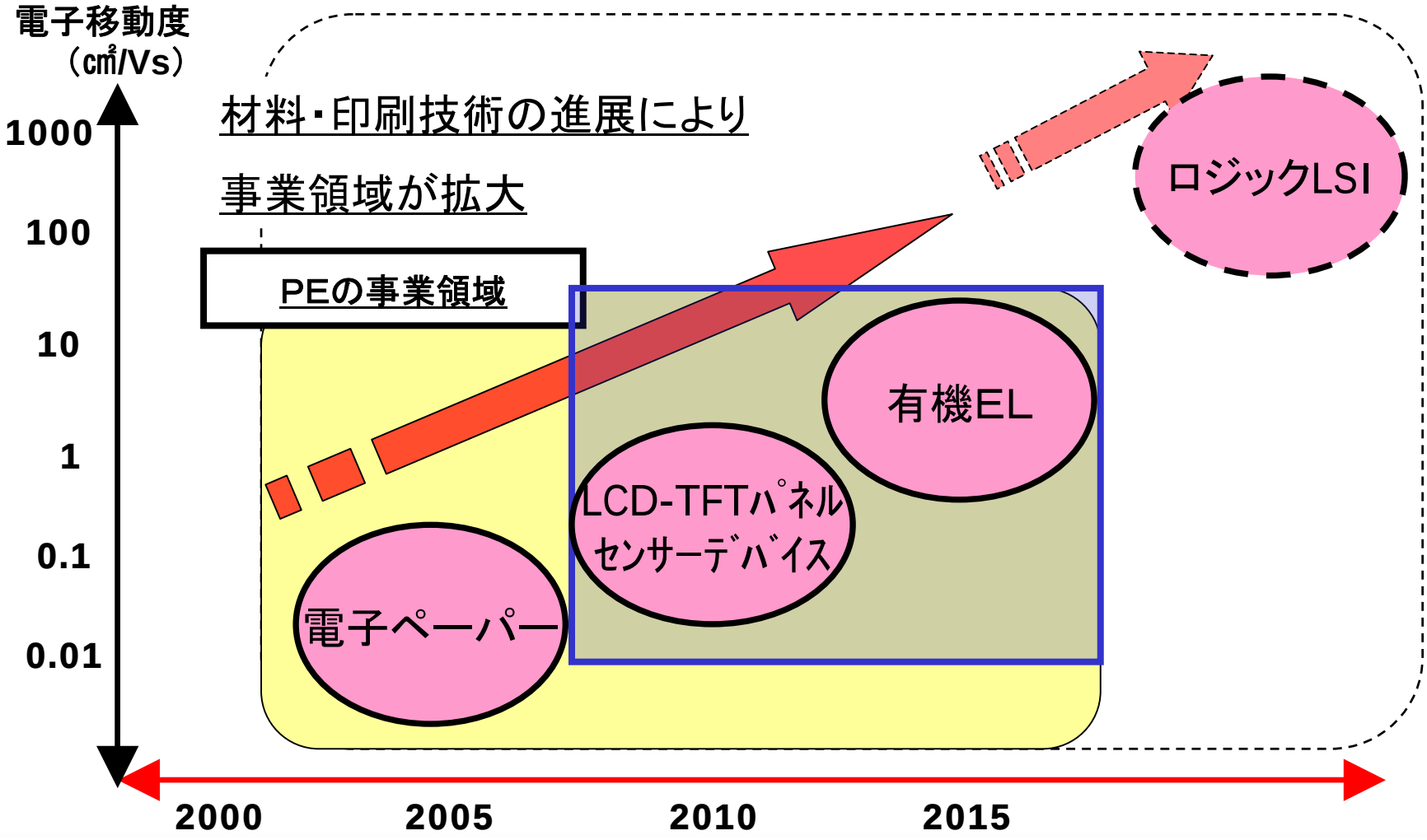
クイッククランプ式高精度ドクター



コモリスリーブテクノロジー



PE / 精密機器事業　― PEの将来領域 ―



※野村リサーチ・アンド・アドバイザリー（2010）を参考に作成

お忙しい中お越しいただき、ありがとうございました。

本資料に記載されている業績予想及び将来の予測等に
関する記述は、入手された情報に基づき判断した予想であり、
潜在的なリスクや不確実性が含まれております。
従いまして、実際の業績は様々な要因により、
これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

なお、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。
投資に関する決定は利用者ご自身の判断において
行われるようお願い致します。

Copyright © 2008 Corporation. All Rights reserved.